

第8回
関西六大学合唱演奏会

BITSUMEIKAN
KONAN
KANSAI
DOSHISHA
KWANGAKU
OSAKA

第8回 関西六大学合唱演奏会

1981.11.3 (火) 大阪フェスティバルホール



主催 関西六大学合唱連盟
後援 関西合唱連盟

御挨拶

皆様、本日は御来場頂きまして誠にありがとうございます。

毎年文化の日に催しておりますこの演奏会ですが、今年は末広りの8回目とあって、出演者一同の想いもひと潮です。

又、合同指揮には昨年同様、地元関西の合唱界で広く知られる根津弘氏をお迎えして、より一層皆様に親しんで頂ける音楽創りを心掛けております。

最後になりましたが、この演奏会が今年も無事開催できましたのも、一重に御来場の皆様や関係諸氏の御支援の賜物と存じます。一同ここに厚く御礼を申し上げますと共に、尚一層の御鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。

(関西六大学合唱連盟)

関西六連の勲励を祈る

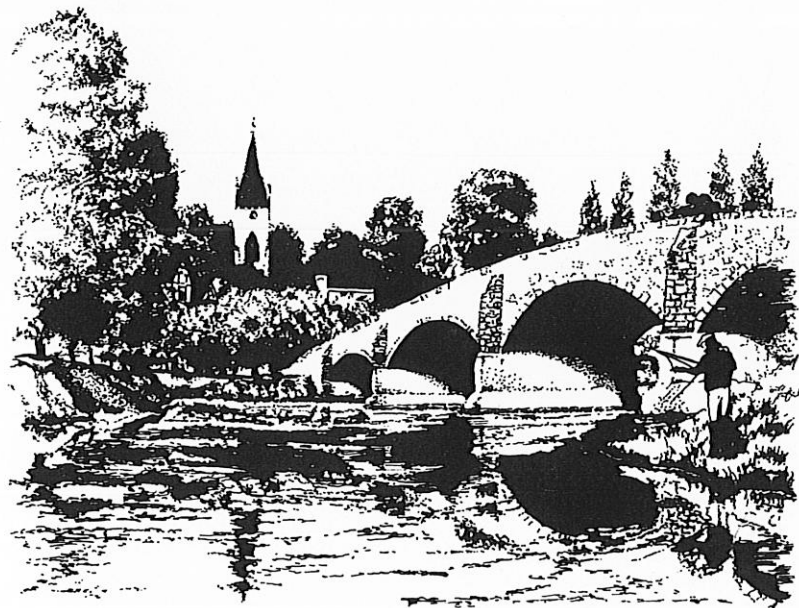
いま、隆盛を極めていく関西合唱の歴史的な開発が、先行学生合唱の精進によってなされたことは、すでに多くの人々の知るところですが、現在も関西合唱界で主要な指導的立場にある人達の全部が例外なく学生合唱の出身者によって占められていることに注目したいのです。

そのようにして、関西六大学合唱連盟は、数多い大学合唱団の代表として結束し、ここに、その第8回のジョイント演奏を展開するに至ったのです。

登場の各大学は、連盟発足以来、一意協進に努め、相互に精励を競い合い、陣容内容共にほぼ完成に近づいた充実を見せているのですが、その力量をもって年間激しい鍛練による熱演の聴かれることは、また愛好家諸賢におかれても幸運ではなからうかと想像するのです。しかもその各レパートリーに目を通せば、それぞれに落ち着いた選曲に統合され、その整備のほど、同感と共に称賛を惜しまないところではあります。

一方伝えられるところによれば、この処海外諸合唱団との交流も頻繁に行われている昨今、世界合唱連盟設立の声を聴くのですが、この躍動の一期に当り、われわれ学生合唱の在り方についても無計画でなく、その永遠なる進展のため、各学風に沿った独自の努力が、不断に積み重ねられることを念願して歌まないのです。

長井 齊
関西合唱連盟会長



今年も超満員に……

文化の日のフェスティバルホールは、関西六大学合唱演奏会と、世評が定着しました。関西のみならず、全国的にも、最も高い水準の男声合唱が聴けるコンサートになりつつあります。いずれも、コンクールには出場しない、いわゆる「コンクール卒業組」の合唱団ばかりであることは、合唱連盟の役員としては残念なことですが、コンクールに出ないからといって、決しておごらず、よその演奏もよく聴く諸君ばかりであることを、うれしく思います。

各団の曲目のラインナップを見ても、なかなか変化とバランスがとれていますね。関西初演が2曲もあることをはじめ、ふだんあまり聴けない曲が、多くとりあげられているのも立派です。そして最後に、根津弘先生の指揮による合同合唱。第1回演奏会以来、7年ぶりというミサ曲が選ばれたのも、関西六連の、最近の姿勢が伺われます。

あの大ホールが、例年超満員になるこのコンサートが、今年も大成功に終わることを祈っています。

日下部 吉彦
関西合唱連盟理事長
音楽評論家

私の属している神戸中央合唱団の男声には、この六大学のOBがなんと多いことか。4年間規律正しいトレーニングの下に、格調高い合唱芸術に取り組んできた彼らは、今や私たちの強力な牽引車になっている。男声合唱曲は女声合唱曲と違ってアカペラが断然多い。理由は今更述べるまでもないが、その男声合唱の魅力の秘密は何か。

強いられた労役の苦しさを神に訴え、望郷の思いを切々と歌うニグロスピリチュアル、民謡とロマン派の名曲を織りまぜた若々しいドイツリーダーシャッツの歌、シャンソンやカンツォーネの抒情を声高く歌い上げるフランスやイタリアの歌、東方教会の敬虔な信仰心からほとぼり出る力強い東ヨーロッパの歌、さらにその流れを汲むコサックの歌など、国家と民族の異なる、それぞれ特徴のある多くの合唱曲、それに加えて邦人作品の数々を君たちはみごとに歌い分け、歌いこなしている。探求心が強いのか貪欲なのか。

京都、大阪、兵庫の6つのキャンパスの交流という今宵の演奏会で、多くの仲間たちと合唱の喜びを共にすることによって、君たちの合唱への愛情はますます大きく深く育って行くだろう。私たちもそれを期待している。

ご盛會を祈ると共に、第9回、第10回とさらに逞しく前進してください。

中村 仁策
兵庫県合唱連盟理事長

愛される「六連」に……

——やっほいいこと——

関西六連を構成しているみなさんに注文したいことは山ほどあるのですが、そのなかでぜひともやってほしいことがふたつあります。

そのひとつは、演奏会としての今日の催しをトータル的に最高のものにしてほしいことです。端的に表現するならば、六つの大学が、個性あふれる暖い音楽づくりをめざしてほしい。自分の大学の出来不出来と同じレベルで、他大学の出来ばえを心から応援してほしいと思うのです。もう何年も前のことですが、六連のコンサートに行って、ただ疲れるばかりで空しく帰ってきたことがありました。そのコンサートが、自分の大学のステージに全力投球するあまり、対抗意識だけが前面に出てしまっていて、音楽不在ともいえるくらいさまざまに争いの場と化してしまったのです。合同演奏にいたっては、隣りで歌う他大学のメンバーに負けじとばかり声を張りあげ、さながら応援歌のごとく。何と、その時の曲目が「信仰宣言」。

そんな出来ごとがあつてから、10年以上の歳月がたちました。六連の演奏会が、とだえるところか、年々盛んになってきたという事実は、まさしく、音楽的ないい形でその組織が運営されてきたという証拠でしょう。合同演奏の面でも、年々、すてきな指揮者を招いて勉強をつづけていることは、かつての私のショックからきた心配は、まさに杞憂にすぎなかったといえるでしょう。ただ、こういった組織のともすればおちいりやすいおとし穴には、いつも眼を向けて頂きたいものです。

ふたつめ。六大学みんなに、ぜひとも合唱コンクールに出てほしいと思うのです。コンクールの是非論はさておいて、いまの六連現役メンバーに、コンクール出場の初体験を果してほしいなあと希うのです。私はコンクール絶対論者ではありませんが、少くとも一生に一度、しかも大学時代に、コンクールの場を踏んでほしいと思う一人です。かつて皆さんの先輩たちが、コンクールの場でのぎを削りあい、そのいい面もイヤな面も知りつくして卒業していった……そして、その後ずっと合唱に関わりのある生活のなかで、その価値感を正しく判断していく……こういったプロセスそのものこそ、まことに貴重なものだと思います。先日、大阪で、OB合同の、ほんとに心あたたまるステージがありました。いい気持ちで向えたステージ後、歌い出したのが、かつてのコンクールの課題曲だったのです。

大学での合唱生活は四年しかありません。その四年間を、自分の歴史の大きなエポックとなり得る歩みとしてほしいのです。個々の合唱団で研鑽を積み重ね、コンクールで、眼を吊りあげて競いあい、六連では、個性にみちみちた心ゆたかな演奏会をつくりあげる。そんな姿を、大学男声合唱界のリーダーである皆さんに望みたい。このところ、「六連嫌い」などとまことしやかに噂されている私の真意はそこにあるのです。いい演奏会になりますよう、心からお祈りします。

吉村 信良
全日本合唱連盟常任理事
京都府合唱連盟理事長

第8回関西六大学合唱連盟定期演奏会の開催されます事を心から御祝い申し上げます。

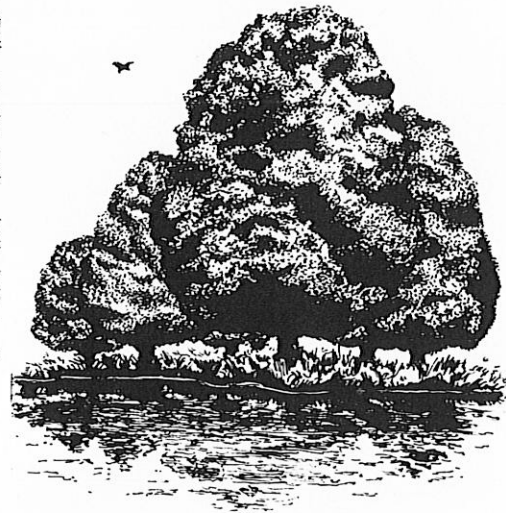
私共東京六大学合唱連盟も五月に30回記念定期演奏会を開催し、30年という大きな節目の区切りをつけたわけですが、東と西の合唱連合体の雄として、また良きライバルとして、貴連盟とのお互いの絶え間ない交流無しには語る事が出来ません。

40年代の大学紛争の余波にもめげず、京都、大阪、神戸と比較的地理的に離れた六校が歌声を合わせる姿を思い浮かべますと、私達も精進せざるを得ぬエネルギーを感じるのです。人間性の欠如、若者達の無気力化が叫ばれている現在、社会の多様化の中で、歌う事のうれしさ楽しさを知る選ばれた若者として、また歌声運動の西と東の騎手として、変わらぬ友情と交流の伝統を築き上げてゆく事ができましたら、これに勝る事はございません。

私達東京の六連は既に五月に西に向って問いかけました。遠く東京の空の下から西の六連の応答を心待ちしている次第であります。

最後に、本日の演奏会の成功を確信しつつ、両連盟の一層の交流をお願いし、貴連盟の益々の御発展をお祈り申し上げます。

東京六大学合唱連盟



今宵、第8回関西六大学合唱演奏会が催されますことを心よりお慶び申し上げます。

毎年、師走のあわたしきの中で、私達は書店の一角に数多く並べられた翌年の手帳を品定めし、その中の1つを購入すると、なによりも初めに書き加える行事があります。そう、それは11月3日文化の日に関西六大学合唱連盟が主催する合唱演奏会なのです。よく考えてみると、これほどまでに私達の心の中に定着し、愛されている演奏会は、どこを捜してみても他に見いだすことができないのではないのでしょうか。関西における男声合唱の壮々たるメンバーが毎年、この日、この時間にここ大阪フェスティバルホールで一堂に会し、その勇姿を見せて下さるこの瞬間、私達は深まりゆく秋の気配を感じると共に男声合唱にしか持ち得ない神秘的な魅力にとりつかれ、時の過ぎ行くことを忘れ、最後の緞帳が降りて初めて演奏会に酔わされていたことに気づいたことが、鮮烈な印象として心に焼きついています。そして今回のプログラムを見ても、改めて各団の今宵の演奏会に賭ける情熱と六団の連帯の絆を、ひしひしと感ぜずにはおれません。近年その流麗かつ活気あふれる演奏に増々磨きのかかったメンネルコール、毎年暖かみのある演奏を聞かせて下さる甲南グリー、豊かなハーモニーの中に常に安定した実力をのぞかせる関大グリー、その調べに重厚な伝統を感じさせる同志社グリー、世界的学生合唱団として揺るぎない地位を誇る関学グリー、そしていつも青年らしい響きに満ちた阪大男声のみなさん。そしてなんと言っても六大学の力が結実する合同演奏では、第1回以来のミサ曲を根津弘先生のタクトで演奏されること。言葉に言い表せない興奮を覚えます。

最後になりましたが、若人の力一杯の想いが満場のホールにこだますることを、心からの拍手をもってお祈り申し上げます。

関西学生混声合唱連盟

PROGRAM

エール交歓

立命館大学メンネルコール
 甲南大学グリークラブ
 関西大学グリークラブ
 同志社グリークラブ
 関西学院グリークラブ
 大阪大学男声合唱団

第 1 部

立命館大学メンネルコール

男声合唱組曲「海鳥の詩」

- I. オロロン鳥
- II. エトピリカ
- III. 海 鷗
- IV. 北の海鳥

作 詩 更科 源蔵
 作曲・編曲 広瀬 量平
 指 揮 藤沢 幸弘
 ピ ア ノ 山本 篤子

甲南大学グリークラブ

「さすらう若人の歌」 Lieder eines fahrenden Gesellen

- I. Wenn mein Schatz Hochzeit macht
- II. Ging heut' morgen übers Feld
- III. Ich hab' ein glühend Messer
- IV. Die zwei blauer Augen

作詩・作曲 Gustav Mahler
 編 曲 福永陽一郎
 指 揮 加島 進
 ピ ア ノ 森本 恵子

関西大学グリークラブ

男声合唱組曲「若しもかの星に」

- I. 若しもかの星に
- II. 光
- III. 樹のぼり
- IV. 母の夢
- V. 海 景
- VI. 遠いところで子供達が歌ってる

作 詩 百田 宗治
 作 曲 多田 武彦
 指 揮 江崎 潔

Intermission

PROGRAM

第 2 部

同志社グリークラブ

ルネッサンス合唱曲集

- I. MATONA MIA CARA
- II. ECCHO
- III. AVE MARIA
- IV. CANTATE DOMINO

編 曲 福永陽一郎
 指 揮 芦田 直幸

関西学院グリークラブ

合唱による風土記「阿波」

- I. たいしめ(鯛締)
- II. 麦打ち
- III. もちつき(餅搗)
- IV. 水取り
- V. たたら(踏鞴)

作 曲 三木 稔
 指 揮 河本 晴光

大阪大学男声合唱団

男声合唱組曲「光のうた」

- I. 日の出
- II. 海
- III. 日 影
- IV. 夕 陽
- V. ランプ

作 詩 川崎 洋
 作 曲 大中 恩
 指 揮 遠藤 健次
 ピ ア ノ 福井 恵代

第 3 部

合同演奏

MESSE DE L'ORPHEON

- I. Kyrie
- II. Credo
- III. Gloria

指 揮 根津 弘

男声合唱組曲「海鳥の詩」

混声合唱組曲として爆発的なヒットとなったこの「海鳥の詩」は1977年の初夏にNHKの委嘱により、広瀬量平氏が更科源蔵氏の詩に作曲をしたものである。そして同年秋に芸術祭参加作品として放送され、その年の暮には、芸術祭優秀賞を受賞したのである。以後、全国の合唱団に歌われ続けているこの組曲を男声版に改作していただくことを最初に着想されたのは、去る6月11日の第20回明立交歓演奏会で立命館大学メンネルコール、明治大学グリークラブにより「海鳥の詩」男声版が初演された時に指揮をなさった伊吹新一氏である。思いもよらぬアイデアにさっそく広瀬氏も同意され、多くの方々の協力のもとに今年4月下旬から5月上旬にかけて作曲家自身の改作である男声合唱組曲「海鳥の詩」が誕生したのである。

さて男声版「海鳥の詩」とは……。

メロディが実に美しいために混声では妙なセンチメンタリズムに陥いることが多く、どこか華やいた感じのところも多々あったのだが、男声では高音パート音域を実音で1オクターブ下げた密集和音になっているため、北海の厳しい自然のイメージとよくオーバーラップしており、海鳥の生命力の逞しさや音楽の推進力もより明確になっている。今まで聴きなれたものとはかなり違った感じになるはずだが、これは1つの解釈なのである。

海鳥の詩 更科源蔵

1 オロロン鳥
オロロン
オロロンとなげば
岩も
もの言わぬ岩も
オロロンと答える

切岸の
岩棚の
齒の上に
生命あたため
海を見る
ウミガラス
ウミガラス
ふるさとは
岩の上
雨ふれば
雨にぬれ
陽が照れば
陽に焼かれ
風ふけば
骨かれる

水平の
落日に
胸は燃え
海昏れば
胸しづみ
光をもとめ
甕をしたい
たどりつく
ウミガラス
オロロンとなげば
海も
海も岩もオロロンと答える

2 エトピリカ
濃い霧にめしい

黒々と
波のどよめく
オホーツク
風走る岩棚の
草原に首を振り
海を見風をきく
エトピリカ
氷の臭いにしびれ
ぎこちなく
カタカタと翼ふるわせ
火を抱いて
ゴーゴーとなる
荒潮に生命さぐる
エトピリカ
岩崖の土穴の
幼い生命に
そうそうと
冠毛をなびかせ

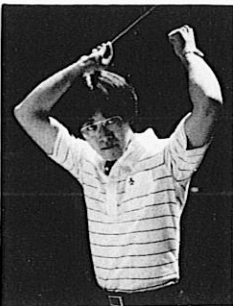
目を見張り
霧にもめげずに飛ぶ限り
神はいる

4 北の海鳥
ふるさとは
キラキラの
光散る
北の海
北の空
オロロン
エトピリカ
ケイマフリ
生と死は
ろんろんと
ゆれ動き
ゆれ返す
深き海底

ごうごうと
重く渦巻き
天にとどろく
オーロラの
たゆとう季節
空をゆく
笛の音にて
月の夜は月にぬれ
胸痛み
口ごもり
息をのむ
みずかきの
冷たくしびれ
落日の
燃えゆく彼方にあかね色
花を夢みて鉛色
波をけり岩をけり
風を呼び
どうどうの

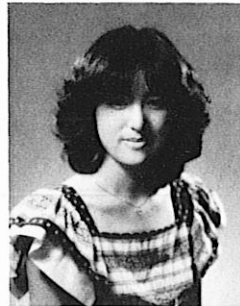
シタキに乗り
虹をくぐり
雪を抱く雲となり
風にまかせ
天と地の
空と海との
人と神
一つにとける
キラキラの光の彼方
南天の
星をめざすか
北の海鳥

指揮者プロフィール



藤沢幸弘
北海道は滝川高校出身。高校時代から合唱に携わり現在に至る。そのもっこりと脹らんだ腹を打点にした指揮法は、誠にナイーブである。練習はシビアで、ちょっとしたハーモニーの乱れにも即NGがかかる。最近、彼の音楽感性に我々がついて行けないことが多々あり、「頼むぜ!」「まあいいや」を連発するようになった。一見、ファッションナブル&スポーティーでシティーボーイを装ってはいるが、実は単なるぶりっこ……まあいいや。指揮法を伊吹新一氏、声楽を松村富也氏に師事。合唱団京都工コーBassパートリーダーである。

ピアノ伴奏



山本篤子
昭和49年、甲南女子高卒業。昭和53年、相愛女子大学音楽部器楽科ピアノ専攻卒業。武田邦夫、井口基成、志賀宗三郎の諸氏に師事、大学在学中より、関西の数多くの合唱団の伴奏をつとめる。

「さすらう若人の歌」

1860年7月7日、プラハとウィーンの中ほどにあるイグラウ市の近郊で、ゲルマン系ユダヤ人の両親のもと、マーラー (Gustav Mahler) は生まれ、幼少の頃よりその楽才には目を見張るものがあったと言われています。三才の頃、すでに数百に及ぶ民謡を覚え、八才の頃には、年少の子供にピアノのレッスンを付けるほどになっていた彼は、その才能に注目した父親に連れられ、正式な音楽教育を受けるため、ウィーンへ旅立ったのです。時に彼が15才の年でした。

その後、カッセルの王立劇場で指揮者の地位を得るまでに成長した23才の時、同劇場の女流歌手ヨハンナ・リヒターに熱い思慕を捧げるため書き始められたのが「さすらう若人の歌 (Lieder eines fahrenden Gesellen)」であったのです。1883年に着手されたこの歌曲は、バス独唱とピアノ伴奏用に1885年に書きあげられたのですが、1896年のベルリンでの演奏にあたって管弦楽伴奏に編曲され、翌97年に出版されました。当初は、全6曲であったのですが、マーラー自身の手によって2曲省かれ、現在は全4曲として残っています。それぞれの曲は、お互いに対立した曲想を持ちながらも、彼自身の特徴である民俗歌曲的な要素はそこなわれておらず、また、彼の交響曲第一番にこの歌曲の第2曲目及び第4曲目の旋律が反映されていることはよく知られています。

歌詩はマーラーの自作のものなのですが、詩集「こどもの不思議な角笛」——彼のお気に入りの詩集——に深く影響されており、直接借用している部分も少なくないようです。詩の内容は、自分を裏切った他の男のもとへ嫁いでいった恋人との別離のため、さすらいの旅に出る若者の姿を描いたもので、「恋人の婚礼の日には自分の悲しみの日」と歌う第1曲、「草露ぬれる朝の野は美しくとも、私の人生に花咲くことはない」と傷心に陥る第2曲、「私の胸には剣がつきささっている。そしてその剣は昼も夜も私を苦しめる」と荒々しく叫ぶ第3曲、「彼女の青い目に追い立てられ旅に出た私は、菩提樹のもとで安らぎを得た」と歌う第4曲からなり、いささか大げさとも言えそうな感傷的な詩を使っているのですが、その題材には、シューベルトの歌曲「冬の旅」にも見られる離愁の想いはせられるのですが、「さすらう若人の歌」は、マーラーの青年期の作品らしく、甘美な若々しい描写、表現に満ちあふれているのですが、前述しました「交響曲第一番」をはじめ、名歌曲「亡き子をしのぶ歌」など、その後のマーラーの音楽の原点となったことは、疑いないと言えます。

「さすらう若人の歌」

I
いとしいひとがとついでゆくと
しあわせそうにとついでゆくと
私の胸はかなしみに破れた。
小部屋の中に
小暗い部屋にとじこもって
いとしいひとを
恋しいひとを思っ泣いた。
青い花よ、しおれるな
青い花よ、しおれるな!
小鳥はやさしく甘い声で
緑の野原に歌いやまない、
「ああ この世の美しさよ
パイチュク パイチュク パイチュク」と。
鳥よ歌うな、花よ咲くな、
春はすでに過ぎ去った!
すべての歌の時はすぎた!
日がくれ、
眠りにつこうとするとき
胸をみたすのは悩みばかりだ。

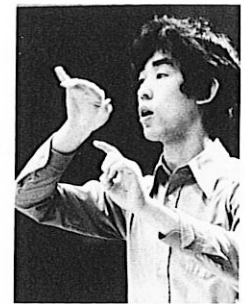
II
この朝 野をゆけば
草の葉に露がしたり
陽気なうそ鳥が語りかける
「お早う、いかがです
この世は美しいじゃありませんか
なんて素敵だ フェウ フェウ
私はすっかり気に入った」
野に咲く釣鐘草もまた
陽気に親切に挨拶する、
チンコン チンコンと鐘を振って
朝の挨拶を呼びかける。
「この世は美しいじゃありませんか
チンコン チンコン すばらしい
私はすっかり気に入った」

そして朝の陽の光をうけて
この世がいっせいにきらめきはじめ
音と色でみたまされる。
花も鳥も、大きいのも小さいのも。
お早う、この世は美しいではないか
そうだ 世界は美しい!
いまは私のしあわせも
ひらけるだろうか?
否! 幸福が私のために
花咲くことなどはあり得ない!

III
私は灼熱した刀をもっていた
私の胸の中にそれをもっていた。
いたましくもそれは
奥深くつきささっていた
すべての喜びに すべてのたのしさに
そんなにも奥深くつきささっていた。
なんとという凶悪な害であろう、
かた時も休まず、
かた時も癒はない。
夜となく、昼となく、
私が眠る時にさえも! この苦しさ!
空をみあげると
私は二つの青い眼をみる。
黄ばんだ野をゆけば
私は遥かからフロントの髪が
風にゆれているのを見る。この苦しさ!
私は夢からさめるときに
彼女の銀のような笑い声をきく。
私は黒い棺の中に臥して
二度とこの眼をひらかずにはいたい!

IV
いとしいひとの青いひとみは
私をひろい世の中に追い立てた。
いまはなによりも愛する場所を
私は離れなければならない。
おお青い瞳よ
何故に私をみつめるのか?
悩みと歎きは
とわに私のものだ!
私はしずかな夜の中を
暗いひろ野へ旅立ってゆく
私にさようならをいう者もなく
私の道づれは愛と悩みだ!
道ばたに 一本の菩提樹が立ち
私ははじめて眠りの中に憩った
菩提樹の枝のもとで!
菩提樹は私の上に
花を雪と降らせ
私は人の世のことを忘れた。
みんなふたたびよい人となり
みんなふたたびよいものとなり
みんなみんな、愛も悩みも
この世も夢も、よいものばかりだった!

第22代学生指揮者



加島 進
県立鳴尾高校卒。現在、法学部4回生。指揮活動も今年で2年目にはいりますます円熟味がでてきた彼。デリケートな神経と芯の強さでぐいぐい部員を引っ張る。「鬼加島」は今年も健在なり!!

ピアノ伴奏



森本恵子
大阪音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。永井譲、清水淳彦の諸氏に師事。現在「大阪音楽大学助手」神戸中央合唱団所属、女声合唱団ミルヴォア専属ピアニスト。

男声合唱組曲「若しもかの星に」

この組曲は、東京オルフェオンの委嘱により、昭和53年4月8日に完成した。この組曲の作詩者、百田宗治氏はその哲学的内容を持つ詩に特徴があり、人間の内面を深く見つめた詩人であるといえよう。又、彼は晩年、全国の小学校教師と連絡して綴方運動を展開した。

ところで、多田武彦氏は初演のパンフレットに次の様に述べている。(抜粋)「……百田宗治先生の詩風は、時には鋭く、時には暖かく人間を描き景観を描く。幻想的背景の中で、ふとまのあたりの人生を描くかと思うと、どこの村や街にも見られる子供たちの動きや自分の思い出を、素朴に純粋に語りつづける。私は久しぶりに、ほのぼのとした人間の心の暖かさを感じ続けながら、作曲し続けることが出来た。……」

今年の5月に開催された東京六大学合唱連盟定期演奏会の時に、多田先生に新作を委嘱した際、先生の作品で関西未発表のものはございませんかと伺ったところ、快くこの組曲を御紹介いただき光栄に思うと同時に、演奏しようと思われ、強化練習で初めて音にした時から今日まで、歌い込むにつれて詩の持つ内容の深さが、徐々に伝わってくるのが心地良かった。

暖かく彫りの深い百田宗治氏の詩境を、今宵私達関西大学グリークラブがどこまで歌い上げることが出来るか、皆様の心の内に響くものがあれば幸いです。

I 若しもかの星に

孤独の極が、ユニゾンから始まる冒頭からレチタティボの結末まで表されている。が、結末は応答が返らぬ無限である。

II 光

宗教的意味を感じさせる詩をソロが歌い上げる。不思議な魅力を持つ美しい曲である。

III 樹のぼり

僕——作者の素朴な感情の流れが曲に表現され、終末の部分にその感情の流れが集約されている。

IV 母の夢

しみじみとしたペースの旋律から始まり、ソロが遠

い故郷の母への思いを歌い上げます。

V 海景

馬車の進行を表すハミングから始まり、景色の変化とともに曲も盛り上がりを見せ馬車は次第に遠ざかるのである。

VI 遠いところで子供達が歌っている

どこからか子供達の声が聞こえてくる様子が、快活なテンポでさわやかに表現され、汚れを知らない子供達に託した詩人の想いが見えるようである。

男声合唱組曲「若しもかの星に」 作詩 百田宗治

I 若しもかの星に

もしもかの星に
夜の空の遠い一つの星のなかに
取残された一人の人間が居るならば、
そしてもし彼がそこから吾々のこの世界を見るならば、
吾々の、この賑やかで楽しげな地上の世界を見るならば、
おゝおそらく彼は孤独に狂ふだらう。
声は上げて叫ぶだらう。
絶望の叫喚を投げるだらう。
彼はそこから飛び降りたく思ふだらう。
が、彼はなほそこに止らねばならぬ。
苦痛の谷に、沈まねばならぬ、
して、日夜
彼はたゞ独りこの繫がりなき距りを見ねばならぬ。
そこに彼は生きねばならぬ
あゝ若し吾々の一人がかゝるおそろしい絶望のうちに生きるならば
おゝ然して彼が尚ほ生きるならば……。

II 光

自分のはぼってゆく。
何処までもつゞく階段
黄金の階段。
自分のはぼってゆく、
光は遠い
真実の太陽の光。
自分のはぼってゆく。
何処までもつゞく階段。
光は遠い
しかし光はそこに溢れてゐる。
光はそこにあふれてゐる。——

III 樹のぼり

桜んぼの熟つてゐる樹の下で
僕は村の子供達と遊んだ。
僕の好きな女の児の髪は
熟れた麦のやうな匂ひがする。
梯子をのぼってゆくその児の後から
僕も下手な樹のぼりをして行った。
皆が下の方で囁してゐる。
僕は僕の採つた桜んぼをその児の爪に入れて運ぶ。
桜んぼの熟つてゐる樹の上で
僕はその児と仲よしくなった。
その児の髪は熟れた麦の匂ひがした。
どうやらその時から僕の頭髪も熟れた麦の匂ひがする。

IV 母の夢

母のゆめを見る
老いたる母のゆめを見る
あたらしい悔いといつくしみが
とどかぬ手でわが胸を摺つ
いまは遠い故郷なる母のゆめを見る

V 海景

馬車は賑ばなまがる
馬車は壊れかゝった燻守函で
馬車は手摺のやうにはずむ。
大玻璃の
海景は折れまがり
しづかな波
ちらばるハンカチのやうな舟舟
外洋の壮大と広間は失はれて
ぼっかりとした日だまりの海がそこにある。

馬車は日かげの巖の下をゆく
馬車は壊れかゝった燻守函で
馬車は手摺のやうにはずむ。

VI 遠いところで子供達が歌っている

遠いところで子供達が歌っている
道路を越して 野の向うに
その声は金属が何かの尖端が触れ合つてゐるやうだ。
一団になって子供達が騒いでゐるのだ。
戦さごっこか何かをしてゐるのだ。
追つたり、追はれたり
組んだりほぐれたりして
青い草の上でふざけ合つてゐるのだ。
おゝ晴れわたつた空に呼吸して
子供達の声が私の窓にきこえてくる。
遠い世界のものゝやうにひびいてくる。
私の魂はそれに相応する。
そのひびきの一つ一つをきく。
はるかに支持し合ひ
保ち合ふ人生がきこえる。
おゝ私はその声をきいてゐる。

指揮者プロフィール



江崎 潔

1960年赤穂に生まれる。関西大学経済学部入学と同時にグリークラブに入部し今日に至る。その高い音楽性と硬派ならぬ出っ歯は、他の部員の比ではない。又

部誌では孤独愛のペンネームで恋愛詩を載せるなど博学多才の持ち主である。今宵は、そんな彼が創り出す音楽を心ゆくまでお楽しみ下さい。

ルネッサンス合唱曲集

最近、わが国でもルネッサンス時代——だいたい15世紀から16世紀にかけての時代の合唱曲が、さかんに演奏されるようになった。この時代の音楽は、本質的に声楽的なもので、器楽的な原理にたっている近代の音楽とは対比的である。この時代の作曲家たちは、人間の声の美しさ、合唱の純粋な表現をあらゆる可能性をつくして追求してきた。たしかにこの時代ほど合唱がもっとも純粋な形で発達していたときはなかった。ある意味ではルネッサンスの時代こそ、合唱音楽の黄金時代であったと言い切つて差支えない。そうしてこの時代の多数の合唱の名作は、20世紀のわたくしたちに好ましいレパートリーを提供してくれているばかりでなく、その醍醐味と本質とを教えてくれているのである。

さて、本日演奏する曲はルネッサンス合唱曲では非常にポピュラーなもので、前半の二曲マトナの君 (MATONA MIA CARA)・山びこ (ECCHO) は、オランダ・デイ・ラッソ (Orlando di Lasso 1532頃~1594) の作曲である。ラッソはフランドル出身のいわゆるフランドル楽派の一人でイタリア、フランスなどで活躍し、とくにドイツのミュンヘンの宮廷につかえ、二千曲にもあまる作品を残している。前半の二曲がイタリア語による世俗曲であるのに対し、後半二曲はラテン語による宗教曲で、アヴェ・マリア (AVE MARIA) は、ヤコブ・アルカデルト (Jacob Arcadelt 1505頃~1597頃) の作曲である。アルカデルトはフランドル出身の初期イタリアマドリガーレの作曲家で、とくにアヴェ・マリアは有名である。最後のカンタテ・ドミノ (CANTATE DOMINO) はハンス・レオ・ハスラー (Hans Leo Hassler 1564~1612) の作曲である。ハスラーはドイツの作曲家で代表作としては、バツハのマイ受難曲や、新教教会の讃美歌 (おお、こうべは血潮にまみれ) でおなじみ (わが心は思い悩む) がある。

マトナの君

当時イタリアに駐在していたドイツ兵が歌ったセレナード。「マトナ」というのはイタリアの「マドンナ」がドイツ語なまりになったものである。全体が四声のホモフォニーでつくられている。

「かわいい娘さん、歌を聞いておくれ。歌は勇ましい兵隊さんだよ。よく聞きなさい、かわいい娘さん。鳥をつかまえてお土産にしようか。柄は悪いが気はやさしい。」

山びこ

2重コーラスを用いて山びこがこだまする効果を出した無伴奏合唱曲である。

「おーい、こだまよ。うたえ、ハハハハハ 友よ、ほがらかにうたえよ……。」と言った意味で、いかにもルネッサンス期らしい大らかで、色彩豊かなものである。

同志社グリークラブ第50代学生指揮者



芦田 直幸

1959年大阪に生まれる。中学時代より合唱に親しみ、高校時代には指揮者として活躍。1978年同志社大学法学部に入部、同時にグリークラブに入部。昨年夏の演奏旅行では副指揮者としてSea Shantyを指揮する。本年1月より第50代学生指揮者に就任。一見すればおわかりいただけるように、貴族充分な彼の姿に、グリーンメンはもとより、その他様々な面でもまさしく全幅の信頼を寄せている次第である。

演奏にあたって

今回の関西六大学合唱演奏会について、実は選曲の段階で非常にめめたのである。当初私は同志社グリークラブ第77回定期演奏会の私のプログラムである「ことばあそびうたII」を六連のプログラムにしようと思っていたが、色々な事情 (外因的な事情) があって夏の演奏旅行のレパートリーであったルネッサンス合唱曲集を演奏する事になった。女声合唱や混声合唱では聴く機会があるが、80名にもなる様な編成の男声合唱では、珍しいプログラムではないかと思う。最近の男声合唱の作品は高度な技術を必要とするものが多いが、たまにはこういう単純なスタイルのア・カペラ作品もよいではないだろうか。こういう作品こそ、ごまかしのきかないもので、その合唱団の真の実力が分かっていただけたらと思います。

「合唱による風土記～阿波」について

かつての音楽は全て労働に源泉し、思想や感情にすら優先したと思われる。この作品に一貫するのは、その「労働」であろう。又労働の形態はそれ自体音楽の型式につながり得るものであり、ここでは伝統保存より、この地方の労働形態から音楽を再創造する事に多くの努力が払われている。

1. たいしめ (鯛締)

鳴門の鯛は、激しい潮流にもまれ、天下一品の味であり毎年八十八夜頃が最盛期である。鯛締は鯛網を引く事であり同時に豊漁への祝唄でもある。

うれしめでたの 若松さまは 枝が栄えりゃ 葉も茂げる

岬鼻から 戻るとすれば 鯛やサワラが 呼び戻す

貯めた貯めたよ この網や貯めた 磯の藻綿で 又貯めた

2. 麦打ち

鳴門を南下すると、吉野川河口に出る。このあたりは阿波の北方と呼ばれ、江戸時代から明治にかけて表作に藍を多く作っていた為、裏作の麦が穀物の主体となる貧しい所であった。麦打ちは刈取った麦の穂をこいて、ゴザの上に並べ、穀笄を持って向い合い、かわるがわる麦を打つ作業である。曲の冒頭の掛声は前半が振り上げ、後半が打ち下しになる。「ヨホホー」は山鳥の鳴声を模したもので、ファルセットなどで歌う。

山で山鳥や 尾は長けれど 忍ぶその夜の 短かさよ

山が暮れても 山鳥や飛ばぬ 可愛い我が子に 魅かされて

鐘がゴンと鳴りゃ 早よいののど ところは寺町 何時も鳴る

3. もちつき (餅搗)

吉野川を逆上ると脇町という古い町がある。農村では祝事の度に振舞餅を搗く習慣があるが、脇町では陰旋法の三味線と陽旋法の歌で単純な労働に変化を持たせようとしている。

旦那大黒 奥さん恵比寿 ひとりある子の 福の神

御所のお庭で 扇を拾うて 扇めでたい 末繁昌

伊勢へ七度 熊野に三度

若戸様へ ふき参り

世治まる 思ったなのさ 末は鶴亀 五葉の松

一石二石三石の一の 餅搗きやすました ゴシャジャンノジャンジャン

4. 水取り

紺がすりや藍染めのユカタの原料として古い歴史と品質を誇った阿波藍は、吉野川流域で三百余年に亘って栽培されて来た。

「水取り」は一連の藍作りの中で、畑に移植した藍に井戸から汲んだ水をやるという単調で苦しい労働であった。

この作品の基、「水取り唄」は或る老婆の声から採譜されたのだが、そこには生気も陽気もなく重積された苛酷な労働の訴えに満ちて旋律線は崩れ果てていた。

前半の第1テナーはファルセットで老婆、後半のバリトンは老爺の若く苦しき日々の回顧として捉える事ができる。

山鳥りゃ 子にこそ迷え たち別れまい この森を

じわじわと 突っこめや 早や持ち上げる さても具合な はねつるべ

5. たたら (踏鞴)

昼の野良仕事を終えても季節に応じた夜なべが持っている。農村の自家製鉄「たたら」もその苦役の1つである。

「たたら節」は日本各地に伝えられ、宴席に残る弱々しい唄もあるが、本来は極めて力感的な激しい労働が連想される。

この作品では、徳島県下に残る「たたら節」「たたら音頭」から言葉のみを断片的に選出し、想像のリズム・旋律で原始宗教の儀式の如く構成されている。

男声合唱のみがこの様な汗と脂の渦巻く労働型態に密着する可能性を持つのである。

東西東西、東西南北 鎮まり給え

エイエイサッサ エイサッサ

ヤットサッサ エイサッサ

ヨウそれ踏めや それ踏めや

親方酒手はどうじゃい どうじゃい

そんなら踏め踏め ヤッシッシ

色はちっくり 黒てもままよ 人に好かれる 笑顔よし

いつも無理に 頭布をかむり 家で遊びを するよりは たたら踏むのが 面白い

エイエイサッサ エイサッサ

ヤットサッサ エイサッサ

ヤットコセ ヨイヤナ

コレワイセ さあさ何でもせ

指揮者プロフィール

河本晴光

1981年8月11日、22回目の誕生日をアテネで迎えた幸運な指揮者である。まぶしいばかりに冴えたエーゲ海の青さと絶妙のコントラストを成す彼は、今年合唱生活7年目を迎え、その音楽も深みを持つかに思われる。

「海外での音楽活動の収穫は？」と尋ねると、「ザルツブルグでのサイン責めだ。」と答える平和な人格で、今宵も愛嬌をふりまきながらステージに登場し、欧州で温めてきた「阿波」を、ここ関西で披露する。乞う御期待。

尚、彼についての詳細は、グリークラブホールまでお尋ね下さい。

男声合唱組曲「光のうた」

「光のうた」は、広島県崇徳高等学校グリークラブ第10回記念定期演奏会のための委嘱作品として誕生し、昨年夏に、作曲家自らの指揮、三浦洋一氏のピアノ伴奏で初演されました。

明るく進んで行く一そのような歌を歌いたい、という高校生の希望がかなえられたわけですから、作曲家大中恩氏は現代日本の合唱を考えるに忘れることのできない作曲家で、「サッチャン」を初めとする数多くの童謡も作曲しておられます。又、代表作「島よ」を初めとして多くの混声合唱曲も作曲され、その流れるようなメロディに多くの方が魅了され、各地で歌われてきました。しかし男声合唱曲は比較的少く、川崎洋氏の詩と取り組んだのもこの曲が最初です。それ故に、今までの大中恩作品とは異った印象を受けられるのではないのでしょうか。高校生のために作られたこの「光のうた」。我々大学生は大学生らしく、より奥深く、ダイナミックに歌いあげたいと思います。

尚、本日この曲を演奏するにあたり、暖かいお心遣を頂きました作曲家の大中恩先生、並びに崇徳高等学校グリークラブの天野守信先生に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

この曲は、本日が関西初演です。

「光のうた」

詩・川崎 洋

Table with 4 columns: Song Part, Poem, Lyrics, and Piano Accompaniment. Includes sections like '1 日の出', '4 タ陽', and '5 ランプ'.

指揮者プロフィール



遠藤健次

自称和歌山県の星。熱烈な愛郷家として知られる。和歌山出身の女性と聞くと、うつろだった目もカッと開き、「あのね～」と例の文句で言い寄る。一方、目をあけたまま寝るという特技も持っている。

彼の「少年の心を」という言葉は有名なが、最近では性に目覚めたらしく、他団員の体に触れてはテクニックを磨いている。誰のためのテクニックかな～？ よっ、北大路(欣哉)！

ピアノ伴奏



福井恵代

昭和54年4月、相愛女子大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻入学。現在、同大学3回生在学中。嶋雪子、矢田暎子の両氏に師事。

「オルフェオンのミサ」

オルフェオン運動と 「オルフェオンのミサ曲」

16世紀の中頃、アンリ2世統治のフランスでは日常生活や学校教育の中で、合唱音楽は生き生きとしていたのですが、17世紀のルイ14世の時代に入ると、それらを含めた音楽は貴族の芸術と化し、一握りの人々の享楽となってしまいます。特に、その後フランス哲学の発達に従って、音楽はますます大衆と遊離し、一般の音楽レベルも極端に低下していくのです。

まして、合唱音楽などは大衆からほど遠く、僅かに王侯の教堂などで限られた型でしか聞くことが出来なかったのです。

しかし、この沈滞を破るきっかけになったのは、かのフランス大革命だったのです。

1795年、ルヴェソエール＝ルポーが国民の祭典を「萬人の合唱」で祝うようにと国民議会に提案したのが発端となり、合唱音楽は息を吹き返し、今まで大衆から離れていた音楽は文学と並んで大切な位置を占めるようになるのです。シヨロンやアグネックの精力的な働きやパリ市議会の唱歌の必修義務化の採決などによって、まさに19世紀のフランスは合唱音楽の世紀に入ったのです。

この経過の中から誕生したのが有名な「オルフェオン」でヴィレム、ドラポルト、それにクーベル等によって、あらゆる階層の働く若者を集めて組織されたアマチュアの男声合唱団体として創立されたものです。

伝説のオルフェウスに因んで名付けられたこの組織は『合唱協会の目的は連帯義務の原則を進んで実行させながら、会員に秩序の精神をうえつけることにある。いかなる場所でも、また構成メンバーの如何にかかわらず存続される』を信条として活動を続けたのです。この運動は各国にも影響を与え、特にドイツの「リーダーターフェル」には大きな刺激になったようです。オルフェオンの全盛期は1860年頃で、記録によ

りますとフランス国内では3200回の合唱音楽会が催され、15万人の団員が存在していたとあります。これらの中にはパリの「アンファン・ド・リュテース」など秀れた合唱団が生まれました。それらのためにグノーやサンサーンスをはじめ作曲家達は数多くの合唱曲を作曲しました。その中のいくつかは日本でも度々演奏されています。グノーの「ミサ」やデュオーバの「荘厳ミサ」もオルフェオンの大会のために作られたものです。

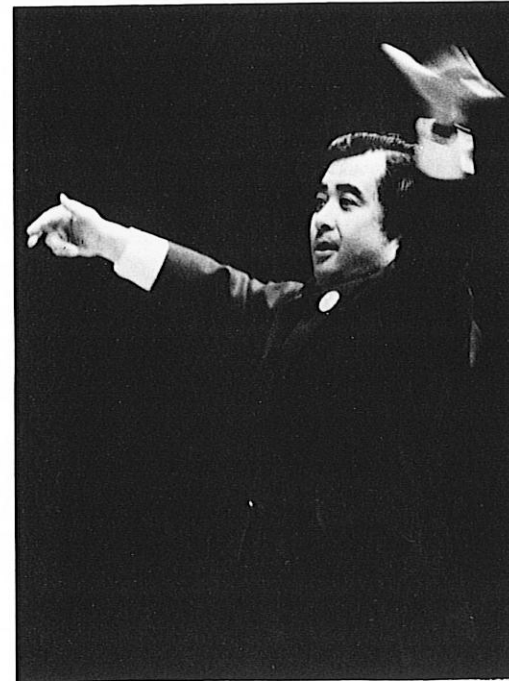
本日演奏しますミサ曲も、この運動に関心を寄せていた作曲家の1人アレヴィとアダン、トーマの3人による合作で、オルフェオンの催しのために作曲されたので「オルフェオンのミサ」と標題がつけられたものと思われま

す。各国に広がったこの運動は、やがて国際コンクールにまで発展していったのですが、この発展ぶりとは裏腹にコンクールの審査に情実が入ることへの不満や次第に閉鎖的になっていく連盟の運営、合唱のみが音楽という独善的な偏向等、健全な発展を阻害する要素が積み重なり、大衆の中から生まれた偉大なフランスの合唱運動も、イギリスのグリーと同様に男声合唱団の名称としてのみ、その名を残しているのです。1つ間違えば日本の合唱組織にもオルフェオンの危機が来ないとも限りません。この失敗は、組織の私物化や団体と利害関係が出来てそれを食べ物にするさもしい芸術家根性が大きな原因だと思えます。

本日演奏します「オルフェオンのミサ」はキリエ、グローリア、オー・サルタリスを「ジゼル」の作曲者A・アダンが、クレドを「ミニヨン」で有名なA・トーマが、サンクトゥス、アニヌス・デイを15年間パリ・オペラ座の合唱指揮者で、オルフェオンの推進者であったF・アレヴィが夫と作曲を担当しています。今日は時間の都合で、その中から静寂のキリエ、軽快なグローリア、豪放なクレドを演奏いたします。

根津 弘

〈指揮者プロフィール〉



根津 弘

1935年8月15日、長崎県佐世保市に生まれる。

小学校の時、学芸会で指揮をしたのがデビューで、以来、神戸高校・関西学院と合唱のエリートコースを歩み、関学グリーの時代には「中勘助の詩から」の初演指揮を行う。

趣味は魚つりで、暇さえ出来れば舟づりを楽しむ。3年前、かれいを200枚つりあげ、「つりの友」にも載ったほどの腕の持ち主である。

現在、神戸中央合唱団の副指揮者であり、関西のアマチュア合唱界で幅広く活躍されている。

メッセージ

客演に寄せて

僕は最初、関西六大学をよろしくお願ひしますとの電話をいただいた時、野球の話かと思った。

かって補欠の名捕手のままマネージャーに転向した僕にも野球の花咲く時が来たかと、一瞬の夢をみた。

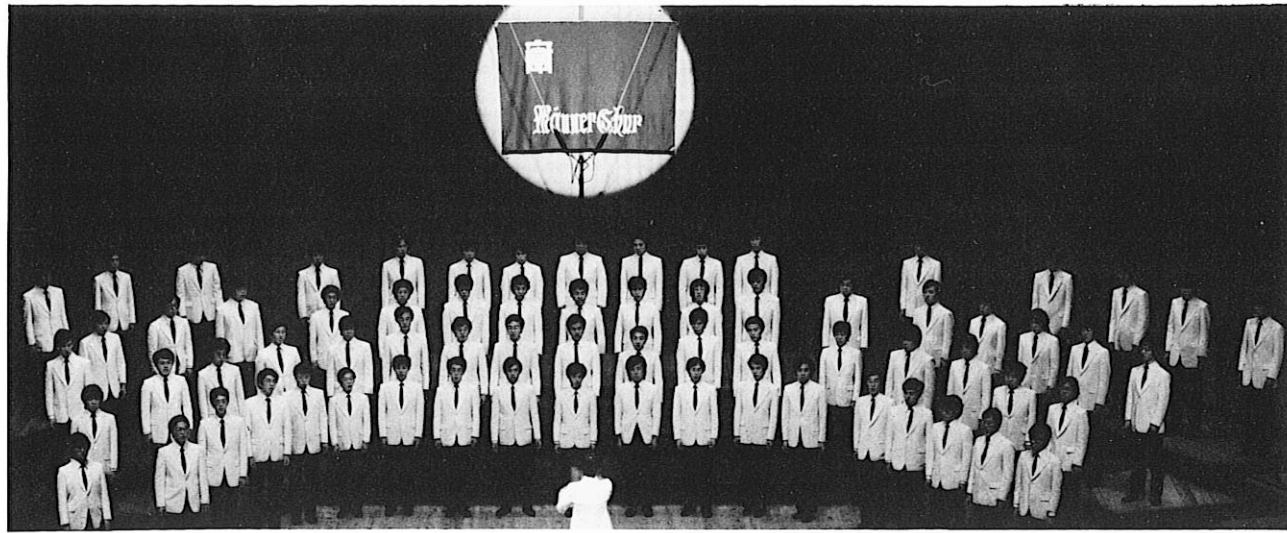
はたして、僕を迎え入れるチームは何処か。母校の関学はまだ二部リーグに低迷していたから、残念ながらそうではあるまい。かつてのライバル関大かも知れない。仕事の関係上、村山実さんが推薦してくれたのかな？。それにしても何故僕を？。次第に僕の頭の中で沢山の？マークが一斉に踊りだした。

しかし、この滑稽な踊りも瞬時にして終わった。関関同立と甲南、阪大です。電話口の向うで説明してくれる役員の方の声に、なァ〜んだコーラスか、野球じゃなかったのかとがっかりした。

でも、中学の野球時代、一度も試合に出してもらえず、自分で幻の名捕手と思っている僕に野球のコーチよりも、合同演奏の指揮でよかったと内心ホッとしたのです。関学時代に男声合唱を通じて合唱の素晴らしさをたたき込まれた僕も、卒業後はもうずっと混声合唱ばかりやってきました。今では、男声合唱よりも混声合唱のほうが合唱、すなわち人声を機能させる点では幅広く試みができて僕は好きですが、その反面、また一度男声合唱を振ってみたいと望郷の念はありました。

そんな時に、関西六大学演奏会の依頼をうけ僕はとても嬉しく、しかも、450名の合同と聞いてぞくぞくしています。一体、どんな音になるのか。それは当日のお楽しみです。とにかく450名の青春の響が何を訴えるか。一緒に燃えようではありませんか。

指揮者 根津 弘



拝啓 母上さま

大学に入ってから2年目となりました。母さんの心配をよそに、勉強も程々に毎日を暮らしています。でも今は、大学に入ったのか、メンネルに入ったのか、よく解らない日々です。そういえば入団する時、父さん母さんに心配かけましたね。おまえの様な音痴が歌をうたうなんてとか、かわいがられて甘えん坊のおまえが規律正しいサークルでやっていけるのかとか、家族会議まで開いてもめましたね。でも御心配無用。今年新しく一回生を迎え、少しづつメンネルがわかってきた様にも感じます。新入生歓迎コンパでは心から新入生を歓迎しました。(救急車と警察に少々お世話になりましたが……) これによって、このサークルの良さを体で感じているのです。僕にとっても、とても良い思い出として残っています。

男だけのサークルに甘えは禁物です。厳しい先輩の一言に納得しながらも、この気風を僕らが維持しなければならぬのです。優れた音楽性を追求しつつ、自分たちが人間的に成長しなくては、とも今思っています。世間で若者たちを軟弱な無思想人間だと酷評している人もいますが、僕らは違うと言い切れます。(そう思います。ちょっと違うかも知れないけど……たぶん) 僕は学生らしき活動を目ざしています。6月に明治大学グリークラブと20回目のコンサートを開きました。僕が今年20才ですから、その歴史に深い感慨を覚え、たくさんのOBと話をしながら、そしてグリーの連中と話をしながら、僕も最近、メンネリアンになってきたなと思いました。

そうそう夏合宿で来年度の役員が決まりました。僕はマネージャーになります。マネージャーは合唱団運営になくなくてはならないのです。僕の行動で、団の活動が左右されるといっても過言ではありません。自分なりに精一杯頑張りますので陰ながら応援して下さい。

幸い良き先輩に恵まれていますので、是非一度、僕らのつくる演奏会を聴きにきて下さいね。とりあえず、12月6日の定期演奏会にむけてマネージャーの勉強を始めます。今年の定演では、シューマンの詩人の恋(知ってますか? 知らなければ隣の山田さんのおじさんに聞いて下さい)を福永陽一郎先生という偉い先生に編曲していただいた曲を初演するそうです。昨年も、メンネルは委嘱作品を演奏しました。近頃、とても意欲的に活動しているのです。僕も頑張らなくては行けないのです。

何かメンネルの事だけ書いてしまいましたが、勿論、大学の勉強も頑張っています。学生は勉強しなくては行けませんからね。それでは、これから寒さも厳しくなりますが、お体を大切に。冬休みには帰ります。

11月3日

P.S. もしよかったらお金少しいいから送ってもらえますか、ネ。それからかわいい彼女ができました。

Männerchor

立命館大学メンネルコール第35回定期演奏会

- I 男声合唱組曲「海鳥の詩」作曲・編曲/広瀬 量平 指揮 浦山 弘三
- II 男声合唱組曲「吹雪の街を」作曲/多田 武彦 指揮 藤沢 幸弘
- III 歌曲集「DICHTERLIEBE op.48(詩人の恋)」~男声合唱版初演~ 片桐 清実
作詩/H.HEINE 作曲/R.SCHUMANN 編曲/福永 陽一郎
- IV 男声合唱とピアノのための「ことばあそびうたII」作曲/新実 徳英 ピアノ 山本 篤子

1981年12月6日(日) 開場PM 5:30 開演PM 6:00 京都府会館第一ホール 全席自由 ¥700

部長 上條 直利

指揮者 藤沢 幸弘

Top Tenor

宇都宮 誠(産4)
上條 直利(法4)
中岡 博文(経4)
大木 雅由(産3)

末次 克行(理3)
矢形 和喜(理3)
吉岡 宏泰(産3)
井上 暢久(産2)

Second Tenor

秋山 秀樹(産4)
河野 伸夫(理4)
坪内 弥生(文4)
奥家 邦弘(産3)
古閑 照也(経3)

児玉 敏男(文3)
宮部 善行(経3)
伊藤 正俊(法2)
上川 勝(産2)
松林 郁夫(理2)

Baritone

石田 順一(法4)
加藤 一樹(経4)
菅 隆良(産4)
力武 哲利(理4)
越智 賢司(産3)
片桐 清実(文3)

木村 信浩(産3)
鈴木 茂基(産3)
田中 哲也(理3)
八木 浩司(産3)
吉田 敏志(産3)
小川 恵司(産2)

Bass

菅原 一芳(法4)
藤沢 幸弘(経4)
増田 和幸(産4)
阿部 幸雄(産3)
高田 靖(理3)
西山 光則(理3)

松野 和生(法3)
八島 博之(法3)
八塚 正憲(産3)
相川 勝彦(経2)
浅利 靖一(理2)
天海 利充(産2)

内海 修(産2)
小椋 泰志(産2)
末広 和巳(産2)
中井 将人(経1)

宮本 浩嗣(産2)
池田 昌隆(産1)
柿野 元博(経1)
金本 直己(法1)
服部 浩巳(産1)

尾関 浩司(経2)
深澤 博昭(産2)
井出 久信(文1)
井上 賢司(理1)
尾崎 信夫(産1)
影近 晴治(法1)

伊賀 浩二(産2)
佐々木 賢一(文2)
中間 了吾(文2)
浅野 竜生(法1)
高橋 哲男(産1)
田中 禎一(理1)

安井 誠治(産1)
湯野 浩之(経1)
横田 逸郎(法1)

藤田 正芳(理1)
宮辻 徹(理1)
山田 雅彦(産1)

川上 英俊(産1)
坂田 勝利(経1)
正木 茂(理1)

西田 功(産1)
安森 浩(理1)



立命館大学校歌

作詩 明本 秀磨
作曲 近衛 清
編曲 清水 秀磨

赤き血汐胸に満ちて
若人真理の泉を汲みつ
仰げば比叡 千古の緑
俯す眼に清しや 加茂の流れの
鏡もとうとし 天の命名
見よ 我が母校

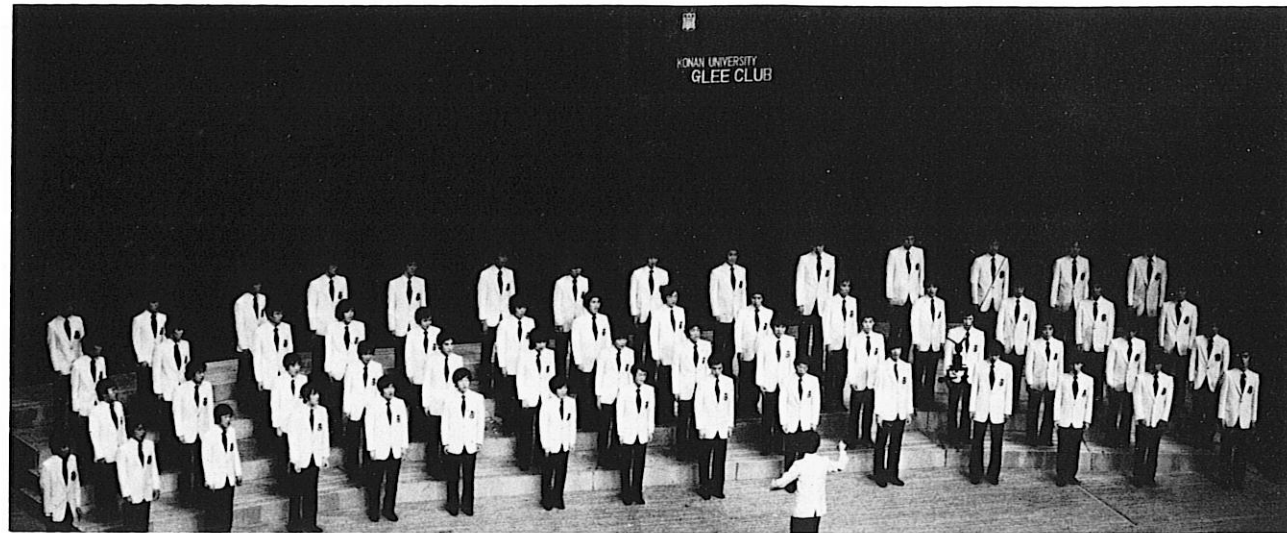
立命 立命

みなさまの中信をよろしく

歌で話したい。

人と人、心と心を結んでひろがる
ふれあいのミュージック。
あたたかいふれあいの心をひろげて
いきたい—これが中信の願いです。





甲南大学グリークラブは、六甲山の豊かな緑と海に囲まれた神戸の岡本という閑静な住宅街にあります。今年は創部30周年を迎え、去る9月12日には神戸文化大ホールにおいて我々のOB合唱団である甲陵会と記念演奏会を開催し30年という伝統の重みと責任を痛感しました。

一口に30年と言いましても、昭和26年10月たった7名で発足し、発表会も開けなかった創部当時。100名を越す団員数を擁し、演奏旅行、他校とのジョイント演奏会等、最盛期を誇った、昭和30年代後半。学内のクラブ活動が、同好会グループにおされ、クラブ活動全体が低迷期に入り、部員獲得に苦勞した、昭和50年初期。そして現在、総部員数も60名近くなり、いろいろな意味で活動も安定してまいりました。ただ30年を通して言えることは、どの時期においても、部員各自が合唱音楽をより深く追求しようとする情熱と姿勢を失わなかったことだと思います。

関西六連におきましては、大所帯の他の5大学に比べ我が甲南大学グリークラブは人数も少なめで、時にはいくらかひ弱さを感じられるかもしれません。しかし私たちは甲南独自の個性的な甲南トーンを追求すべく日々の練習にはげんでいます。技術的には前田幸市郎、大森栄一両先生やボイストレーナーの藤田武士、畑儀文両先生の御指導のもとで、3月に学習院、甲南ジョイントコンサート、6月に神戸3大学交歓合唱演奏会、7月に演奏旅行、そして9月には記念演奏会と例年になく過密なスケジュールでしたが、部員一丸となってがんばってきました。

春には、合ハイや合コン、ソフトボール大会や関西六連大運動会など楽しい行事がたくさんあるのですが、夏には1日の練習時間が11時間にも及ぶ恐怖の合宿をはじめ酷暑の中でふき出る汗をぬぐいながらの連日の強化練習などが待っています。そんなグリーライフの中で新入部員達は歌の魅力にとりつかれ、だんだん甲南カラーに染っていくのです。

“アマチュア”の語源はラテン語“アマール”から来ており、「ひたすらに愛する、純粋に愛する」という意味があるそうです。私たち甲南グリーメンは、本当の意味でのアマチュア精神をもってひたむきに、純粋に歌を愛し合唱そのものを追求していこうと考えております。

最後に、今後共一層、皆様の熱意ある御指導と御批判とをお願い申し上げます。

部長 嶋 忠志 指揮 加島 進

Top Tenor

川口 正則(理4)
田中 裕二(経3)
西尾 健司(理2)
高橋 敏浩(法1)

佐藤 考平(営4)
畠山 浩(理3)
稲井 英人(文1)

藤井 俊弥(法4)
三木 美裕(営3)
金田 宏(営1)

井上 陽介(営3)
菊原 恭史(理2)
川島 吉博(法1)

榎部 薫(営3)
坂口 昌也(理2)
越山 雄(経1)

Second Tenor

佐藤 仁昭(理4)
森 敏浩(営3)
前田 淳造(営2)

村中 裕之(理4)
石黒 裕章(営2)
石黒 弘樹(理1)

国原 和彦(経3)
大塚 善之(文2)
浦井 誠(文1)

嶋 忠志(法3)
大西 一成(営2)
土方 晶彦(経1)

関 徹夫(営3)
覚野 茂邦(営2)
松田 博義(営1)

Baritone

加島 進(法4)
上田 好一(営2)
山登 英司(経2)
山田 博(営1)

岡室 正則(法3)
中島 秀浩(文2)
瀧中 哲郎(経1)

神下 修一(営3)
成田 知弥(理2)
萬代 徹文(理1)

長尾 芳光(営3)
野田 政生(理2)
東 善俊(理1)

宮内 正彦(法3)
福原 清(経1)

Bass

林 純一郎(理4)
高橋新一郎(理2)
松岡 祥泰(文1)

岩間健太郎(経3)
中谷 文人(経2)

木村 長典(営3)
吉田 宏之(理2)

吉崎 博史(営3)
伊藤 謙二(文1)

岩田 卓也(法2)
高田 真一(理1)

みはるかす
日にひかり
わかうどの
甲南
この学び舎

さわやかに
目にしたし
わかうどの
甲南
この学び舎

山のかげ
木々のみどり
この学び舎

茅渚の海
雨にけむり
夢をさそう
この学び舎

作詩・寿岳
作曲・信時 潔
文章

甲南学園歌



創部 30周年記念

第29回甲南大学グリークラブリサイタル

1. 男声合唱組曲「秋風裡」 作曲：多田武彦
2. さすらう若人の歌 作曲：G.Mahler
3. 合唱組曲「沙羅」 作曲：信時 潔
4. MESSE in E moll 作曲：A.Bruckner (男声版初演、編曲依頼作品)

指揮：前田幸市郎 伴奏：岡安早苗
加島 進 森本恵子

1982.1.25. 開演18:30
神戸文化(大)ホール

全席自由 400円
《お問い合わせ》
06(911)6964
長尾 芳光

神戸女子大学コーラス部 第9回定期演奏会

Chorus Club

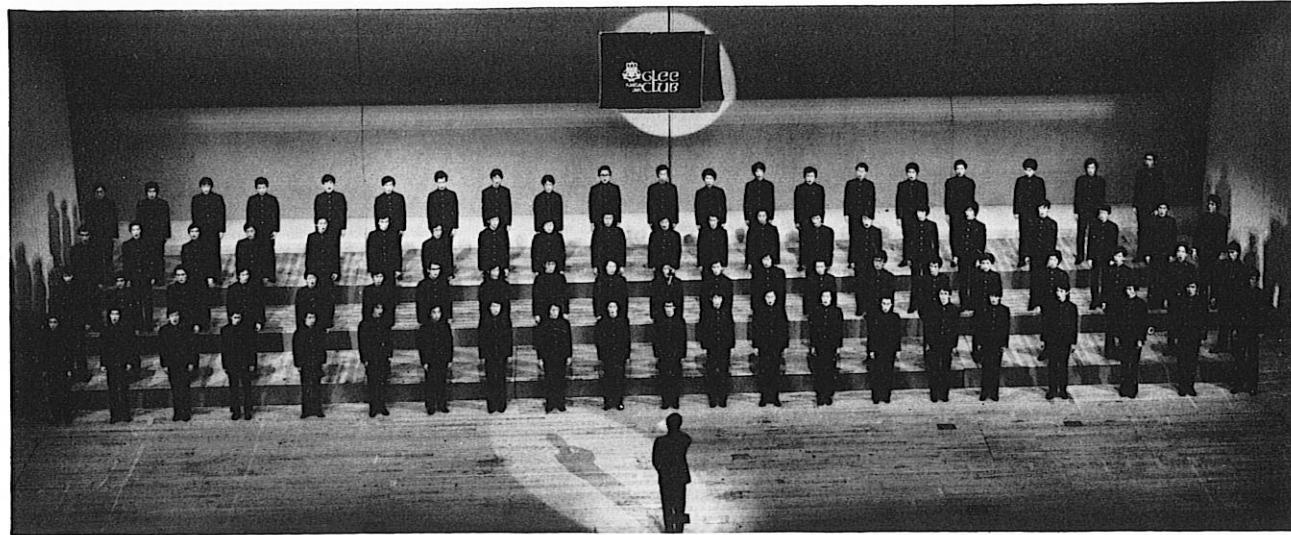
《曲目》コダーイ 女声合唱曲集より
海
青春の構図 —今、私達が感じる音—
愛の河

¥400

1981年12月10日(木) PM6:30開演 神戸文化ホール



関西大学グリークラブ



チヨース

昭和24年5月、関大ルネッサンス提唱の中で音楽好きの者10数名が集まり、グリークラブとして千里山に産声をあげて以来、今日に至るまでに、エール大学グリークラブ、ウィッテンベルグ大学混声合唱団との交歓演奏会をはじめ、多くの大学及び一般合唱団との演奏会を持つなど数々の足跡を残してまいりました。そして今年、法政大学アリオコンクールとの記念すべき第20回法関交歓演奏会や、中国短期大学フラウエンコール、OB会千里エコーとのジョイントコンサートもすべて盛況のうちに終り、又去る10月15日には、田中信昭先生の指揮で、日本有数のプロ合唱団である東京混声合唱団と共演するという絶好の機会に恵まれるなど、年々高まる評価に部員一同大きな責任を感じずにはいられません。

最近ではTV、ラジオ出演など放送界への進出も多くなり、演奏旅行、ソフトボール大会、合ハイ、コンパ等、合わせてより一層バラエティに富んだグリーライフとなつてまいりました。

さて、六大学の中にあつて、“男くささ”“バンカラ精神”を残しているのが関大グリーでありましょう。たとえば「演芸大会」での想像を絶する乱痴気騒ぎ、壮絶なる“追いかけ”の儀式等、まあ、これらのバカ騒ぎをみなさんにお見せできないのは非常に残念です。しかし、“バンカラ精神”とはバカ騒ぎすることではありません。遊びと練習のけじめ・目上の人に対する礼儀・何事にも妥協を許さない徹底さ、これらをふまえた、豪快で節目ある男であれ、これが関大グリーのモットーなのです。価値感の多様化、クリスタル族の存在が叫ばれる昨今、自分の大学の学歌が歌えないとか自分の大学を誇りに思うことができない大学生が多いようです。しかし我々グリーメンは、大学生であることを謙虚に受けとめ、関西大学の学生であることを自覚しなければなりません。そして今宵歌い上げる「若しもかの星に」が、皆様の心にわずかながらも感動を呼び起こせば、こんな嬉しいことはありません。

最後に横田浩和先生、坂口尚平先生等の諸先生の御指導のもとに、より一層の飛躍を目指し、たゆまない努力をこなし、ゴツツァンでした。

主将 永井 謙一

指揮者 江崎 潔

Top Tenor

青木 裕一(文4)
竹下 義明(社4)
沢村 直幸(経3)
常川 浩(社3)

古川 知秀(商3)
山本 望(社3)
若園 健治(法3)
大藪 敏和(法2)

倉本 洋(経2)
古丸 靖(商2)
浜本 功(社2)
山本 孝一(社2)

北垣 弘(法1)
東 隆行(経1)
斎藤実紀夫(工1)
榊原 仁(工1)

高松 壽(社1)
建部 富久(商1)

Second Tenor

江村 敦志(社4)
田中 悟志(法4)
豊田 千之(商4)
松山 卓行(社4)
岡本 達幸(文3)

坂本 達也(社3)
白石 貢(法3)
二宮 敏宏(社3)
藤井 良之(法3)
米川 謙二(商3)

大家 宏(文2)
富尾 浩之(経2)
林 浩史(法2)
三木 英和(法2)
山下 浩(法2)

吉田 光利(経2)
阿部 純也(商1)
小坂 善信(社1)
田中 伸一(経1)
寺本 稔(法1)

中村 浩士(工1)
東浦 邦弘(社1)
古家 辰治(商1)
増井 健一(工1)

Baritone

金坂 忠彦(法4)
谷 幸雄(工4)
米津 勝之(文4)
梅村 正直(社3)

倉田 公雄(文3)
谷沢 正明(経3)
中崎 慎司(社3)
林 伸二郎(文3)

古谷 正人(法3)
新居 昌明(法2)
上田 泰正(法2)
尾田木博之(法2)

竹本 治(社2)
土岐 勝啓(法2)
松井 邦彦(経2)
片山 稔也(法1)

北本 賀也(経1)
杉村 裕史(社1)
藤本 潤(社1)
船越 浩之(文1)

Bass

江崎 潔(経4)
尾崎 史照(商4)
田辺 和人(商4)
塔筋 浩司(経4)
永井 謙一(法4)
真下 輝明(商4)

梶 広志(社3)
小西 健一(法3)
清水 正三(社3)
富吉 修(社3)
宮沢 勝弥(文3)
上遠野浩一(文2)

河野 秀文(法2)
阪田 昌英(法2)
三納 哲也(社2)
福家 和彦(経2)
武藤 朝美(商2)
大沢 裕司(文1)

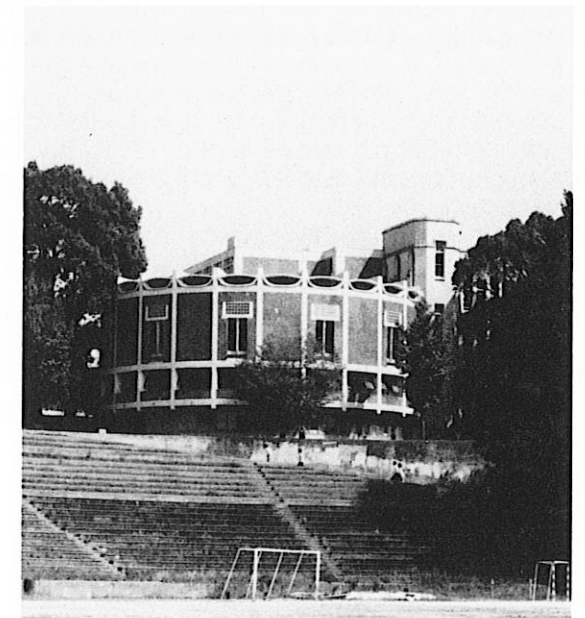
大西 徹(社1)
小西 常夫(法1)
角田 浩介(商1)
西崎 勉(社1)
春田 英樹(法1)
真下 明彦(法1)

横田 裕導(法1)
米沢 明(文1)

自然の秀麗 人の親和
たぐいなき 此の学園
我等立つ 人生の曙に
燦たる理想を 仰ぎつつ
学ぶは一途 純正の
若き心に 讃えなん
関西大学 関西大学
関西大学 長き歴史

作詩 服部 嘉香
作曲 山田 耕筈

関西大学学歌



第23回／関西大学グリークラブ定期演奏会

- MISSA“REGINA COELI” 作曲 JAC DE KERLE
- 「土の歌」 作詩 大木惇夫／作曲 佐藤 真
- Beatles Numbers より 編曲 宮島将郎
- 男声合唱組曲「若しもかの星に」 作詩 百田宗治／作曲 多田武彦

〔指揮〕ロベルト・ヴリーゲン、江崎 潔、林 伸二郎

1981年12月13日(日) PM6:00開場 PM6:30開演 大阪フェスティバルホール

第17回 大阪経済大学グリークラブ定期演奏会

〔曲目〕

- 追憶の窓
- スケルツォ
- 黒人霊歌
- レクイエム ニ短調

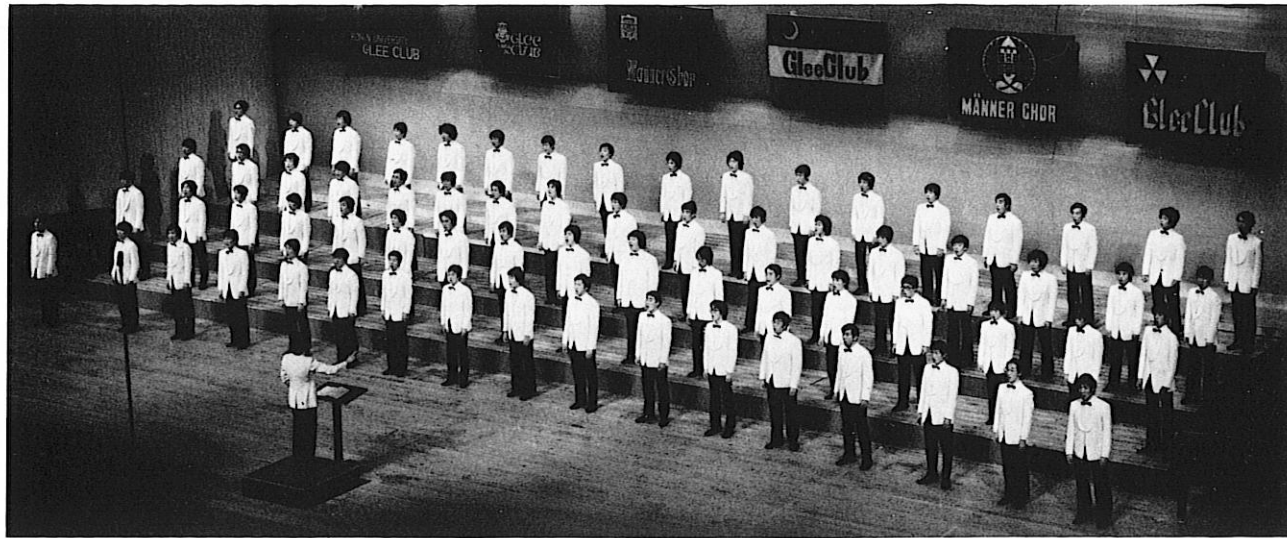
〔指揮〕

- 草野道広
- 梅原尚人
- 瀬川克也

入場料 ¥500

1981年12月11日(金) PM6:30開演

○森の宮ピロティホール



東に清きせせらぎの鴨川、南に京都御所が位置する古都に、新島襄によって同志社が創立されたのは明治8年。そして同志社グリークラブはその同志社の小さな聖歌隊が現名誉顧問の片桐哲先生によって「グリークラブ」と名付けられて以来、今年で77周年を迎えます。この四分の三世紀に渡る長い伝統と、重厚なハーモニーを今日まで堅持し得たのも、皆様の暖かい御支援の賜と部員一同感謝しております。

さて、私達グリーメンの一年間というのは実に目まぐるしいもので、同関演奏会、東西四連、関西六連、メサイア、定期演奏会といった演奏会を中心に春と夏の合宿、夏の演奏旅行（今年は九州一福岡、小倉、長崎、熊本へ行った。……長崎である中年女性の憧れの的である二谷英明と酒を飲んだ）、テレビ出演、レコーディングetc.と言ったように全くと言ってよいほど休みのない大学生活を送っているのではありません。このように非常に忙しいにも拘わらず、不平も言わず？、黙々と練習場へと通うのです。

我々はクラブの入部式である対面式に始まり卒部式であるフェアウェルコンサートに到る4年間に多くの貴重な体験を得る事が出来ます。この恵まれた環境の中で、決しておごることなく、我クラブの趣旨である「同志社精神を戴し、メンバー相互の協調、親睦を計り情操を高め、文化の向上に資する」ことを忘れる事なく、絶えず精神を続けなければなりません。

今宵、初めてこのような大舞台にのる一回生、責任感が始まる成長著しい二回生、何とも言えない三回生、就職活動もようやく落ち着いた？と思われる四回生。立場は違ってもこのステージにかける思いは同じです。必ずや練習の成果を皆様に聴いていただけるものと思えます。

今後も、福永陽一郎、富岡健、大久保昭男諸先生方の御指導のもとで「同志社精神を戴した、メンバー相互のメンタルハーモニー」に不断の精進を続けていくつもりでございます。皆様の多大な御批判、御支援を賜りますよう御願ひ申し上げます。

幹事長 佐藤 隆弘

指揮者 芦田 直幸

Top Tenor

木谷 誠(神4)
加古 立史(文3)
西山 勲(経2)
佐野 衛(法2)
森 知史(工1)

宮島 寿(商4)
栗原 毅(商3)
斉藤 陸彦(神2)
梶原 昌彦(法1)
中小路智一(法1)

小野 誉文(経4)
楠 敏也(法3)
鈴木 典夫(文2)
河村 一良(商1)
佐々木 涉(経1)

畠中 達哉(法3)
村上 能彦(法2)
豊田 尚紀(経2)
宮井 健(工1)
山中 光(商1)

Second Tenor

東原 幸生(商4)
木村 計司(文3)
溝端 利文(文2)
餅 一隆(商2)
吉田 昌弘(商1)

井ノ口光章(法4)
松井 謙之(法3)
諸江 修(文2)
日比 敏也(経1)
辻 透(商1)

吉田 宜生(法4)
田中 哲夫(文3)
須藤 彰治(商2)
篠原芳兵衛(商1)

池田 英生(経3)
上田 慎一(工3)
吉田 進次(商2)
安田 敦(工1)

Baritone

芦田 直幸(法4)
佐藤 隆弘(経3)
長谷川恵一(経2)
山岡 敬(法2)
渡辺 直樹(商1)

北尾 俊明(経4)
高井 啓行(法3)
仲 貴司(商2)
藤井 啓三(商2)
山内 豊(商1)

大北 稔(法4)
武田 祥和(文3)
小田 尚紀(経2)
伊勢三十六(文1)

小田垣正美(商3)
土佐 易弘(経3)
豊山 行純(経2)
大嶋 誠司(商1)

Bass

筒井 隆文(経4)
高沢 隆司(文3)
橋本 裕和(経2)
中西 卓司(工2)
中西 雅樹(経1)
高橋 圭二(法1)

前田 洋孝(商3)
薬師神重司(経3)
鋒山 琢磨(文2)
岡田 和弘(文2)
中田 克之(法1)
田中光太郎(経1)

佐藤 敏(経3)
馬場 基尚(法2)
飯田 勝美(法2)
片岡 和彦(経1)
西尾 強志(文1)
和田 秀樹(経1)

里内 知己(文3)
藤本 和久(工2)
松榮 良太(法2)
久保田哲哉(工1)
白井 幸彦(法1)

DOSHISHA COLLEGE SONG

作詞 W.M.Vories

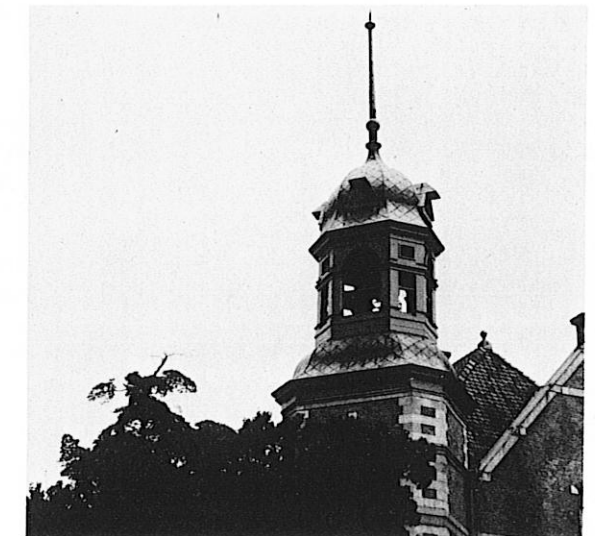
作曲 Carl Wilhelm

One purpose Doshisha, thy name
Doth signify one lofty aim.

To train thy sons in heart and hand
To live for God and Native Land.

Dear Alma Mater sons of thine
Shall be as branches to the vine.

Tho' through the world we wander far and wide,
Still in our hearts thy precepts shall abide.



同志社グリークラブ第77回定期演奏会

- 〔曲目〕 I. ことばあそびうたⅡ
II. 月下の一群
III. オーヴェルニュの歌
IV. Negro Spirituals

〔指揮〕 福永陽一郎
富岡 健
芦田直幸

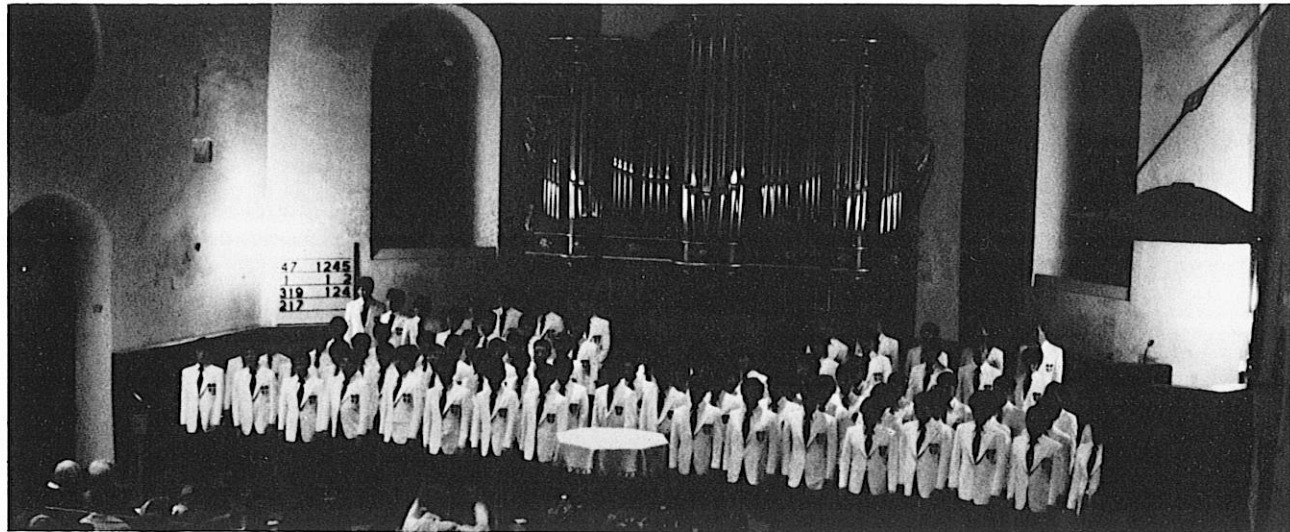
1982. 1. 23(土)
P.M6:30 京都会館第1ホール
〔連絡先〕同志社グリーBox 075・431・9743

ステージの出来映えを変えるコート

本日のステージコート
作成の店

司屋株式会社

大阪マーチャンダイズマート11階
TEL 06 (943) 3100



〈スイス、グリンデルワルトにて〉

関西学院グリークラブの歴史は今から82年前の1899年、神戸市郊外原田の森から始まりました。我がグリークラブの歴史は日本の男声合唱団の歴史であるとも言えるのではないかと自負しております。そしてそれは学院の恵まれた環境と宗教的雰囲気、内外の暖かい御指導、そして何よりも幾多の先輩方の努力によってはぐくまれてきました。

さて、今年の夏には、七度目の海外演奏旅行へと旅立ち、ヨーロッパ各地（スイス・イギリス・オーストリア・ブルガリア・ギリシア）を訪問し、「グリートーン」を響かせ、25日間の日程を無事に終え、帰ってまいりました。特に、チャールズ皇太子御成婚記念の「LOUGHBOROUGH SINGING WEEK」に日本代表として参加したことが一番の思い出になっています。そして、長期滞在のイギリスでは、関学グリーの規律とマナーの良さが高く評価されました。又、一週間も滞在していると、青い目の女の子と仲良くなり（部員の中には、熱を上げ過ぎて、イギリスを去ってからはボケーとしていた者もいた）色々な面々で交流を持つ事ができました。

さて、本日は上級生にとっては海外の思い出の曲である『阿波』を、36名の新入部員と一緒に演奏いたします。海外とは一味違ったものになるでしょう。

緊張の一年生、そろそろクラブを支える意識が強くなってきた二年生、責任感の強くなる三年生、就職もほぼ決まり、残りのグリーライフを大切にしたいと願う四年生。皆、思いは様々ですが、日々鍛えた練習の成果を、関学グリーの「メンタル・ハーモニー」を、皆様に聴いていただけるものと存じます。約130名の部員は、林雄一郎先生、北村協一先生、大久保昭男先生の御指導のもと、全力をあげて歌い上げるつもりで頑張っております。又、来年1月に催されます第50回関西学院グリークラブリサイタルでは、畑中良輔先生を客演指揮者としてお招きし、ドイツ音楽とも取り組んでみることにしました。

我々関西学院グリークラブは、今後、より一層輝かしい歴史の一ページを飾るべく厳しい練習に励んでゆく覚悟です。今後とも、私達関西学院グリークラブに対する皆様の遠慮のない御批判と、変らぬ御声援をお願い申し上げます。

第50回関西学院グリークラブリサイタル

- MISSA dorica 作曲 A.Jenny
- 「さまよいの船路」(第50回記念委嘱作品) 作曲 平吉毅州 作詩 片岡輝
- Liebeslieder (愛のワルツ集) 作曲 J.Brahms
- The Broadway Musical "West Side Story" 編曲 北村協一
- 男声合唱組曲「在りし日の歌」 作曲 多田武彦 作詩 中原中也

指揮 林雄一郎
畑中良輔
北村協一
河本晴光

■ 連絡先
関西学院グリークラブ
0798(52)6471

1982年1月30日(土) 6:00P.M. 神戸文化ホール大ホール
1982年1月31日(日) 6:00P.M. 大阪フェスティバルホール

部長 島 泰幸 指揮者 河本晴光

Top Tenor

堀 伸夫(経4)	坂口 和彦(理3)	作田 剛(社2)	山下 寛(理2)	庄山 浩司(法2)	本江 健司(商1)
西村 紀彦(法4)	河田 勝(社3)	殿村愛一郎(法2)	門澤 秀樹(商2)	隅谷 義孝(文1)	幸田 克平(法1)
島 泰幸(法4)	竹中 俊哉(経3)	若井 敬(経2)	岡 明彦(法2)	米村 義則(法1)	
谷 重樹(経4)	山田 雅浩(社3)	今井 博(文2)	長谷川景一(商2)	榎本 大(理1)	
渡辺 正樹(商4)	三田 欣弘(社2)	小岩井雅人(商2)	片山 悟(経2)	金井 隆(法1)	
藤原 肇(商4)	近藤 裕介(経2)	白井 健雄(法2)	吉田 昌宏(法2)	瀬戸 裕之(法1)	

Second Tenor

麻野 進(文4)	廣瀬 康(商4)	田中 康彦(文2)	杉浦 義一(文2)	香西 孝喜(商2)	田辺 英明(法1)
木田 雅夫(経4)	山本 哲也(商3)	飯田 幸生(社2)	平川 博司(経2)	西山 英男(商2)	三戸 勝政(法1)
秋田 淳滋(文4)	中島 勝美(法3)	西田 淳一(商2)	村田 浩之(法2)	西谷 秀樹(文1)	野口 雅章(商1)
河本 晴光(経4)	高村 哲夫(商3)	天句 好昭(商2)	竹見 孝弘(経2)	杉田 啓介(理1)	藤岡 義章(商1)
中山 順喜(法4)	北村 勲(商3)	橋本 尚樹(商2)	田中 幸成(経2)	平松 大輔(法1)	田中 福祉(法1)

Baritone

奥村 一雄(経4)	山本 義和(法3)	河村 徹(文2)	堀井 一宏(文2)	福明 正樹(社1)	青木 克爾(社1)
伊藤 裕之(経4)	伊藤 雅之(経3)	池永 明(法2)	椋田 哲男(社2)	榎並 良樹(社1)	神徳 和男(経1)
井上 登(商4)	間所 俊夫(経3)	岡本 晋一(法2)	小杉 穂高(商2)	恵谷 篤嗣(商1)	伊藤 正博(法1)
中永 毅(社4)	野坂 哲夫(法3)	津田 耕一(社2)	辰井 哲(商2)	飯田 栄一(経1)	
和田 直也(法4)	沢 剛(法3)	江口 範行(商2)	谷口 芳正(経2)	八木 徹(法1)	
岡本 拓也(法3)	太田 直宏(法2)	小杉 寿彦(社2)	中村 正男(法2)	石黒 靖敏(商1)	
松下 浩和(文3)	名村 誠(経2)	猿丸 良一(経2)	田村 浩志(法2)	戸田 義信(商1)	

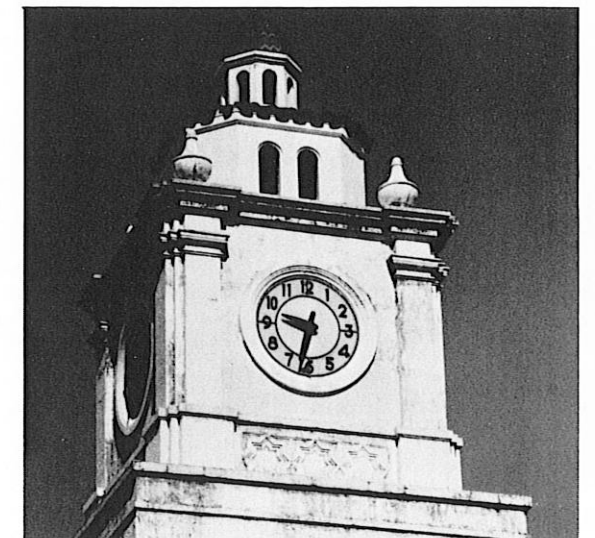
Bass

木村 克哉(社4)	寺田 裕之(経3)	中村 和正(法2)	石田 雅一(文2)	吉田 徹(経1)	多 一郎(法1)
西村 直人(経4)	石田 一郎(法3)	渡辺 弘之(法2)	石崎 隆造(社2)	津田 良司(法1)	
中村 司(商4)	近藤 広行(法3)	前田 昌男(経2)	諫山 敏明(法1)	福島 広之(法1)	
橋田 宏介(法4)	宇佐美 健(経2)	南 昌明(商2)	前山 誠(文1)	門脇 哲郎(商1)	
宮川 澄雄(法4)	永合 幹弥(法2)	鈴木 秀俊(社2)	松本 和巳(商1)	福本 裕行(経1)	
山田 真也(経3)	高橋 恵三(経2)	今田 雅文(経2)	鬼頭 悟(経1)	山本 洋二(法1)	

OLD KWANSEI

編曲 林雄一郎

Tune ev'ry heart and ev'ry voice,
Throw ev'ry care away;
Let all with one accord rejoice,
In praise of Old Kwansei;
In praise of Kwansei Gakuin,
In praise of Old Kwansei,
Her sons will give, while they shall live,
Banzai, Banzai, Kwansei!



第18回 大阪樟蔭女子大学コーラス部定期演奏会

— 1981年12月9日(水) 大阪森ノ宮ピロティホール —

開演 6:30PM ¥500

〈曲目〉

秋風の中で
北の歌
シューベルト女声合唱曲集より
ミュージカル「マイ・フェア・レディ」より

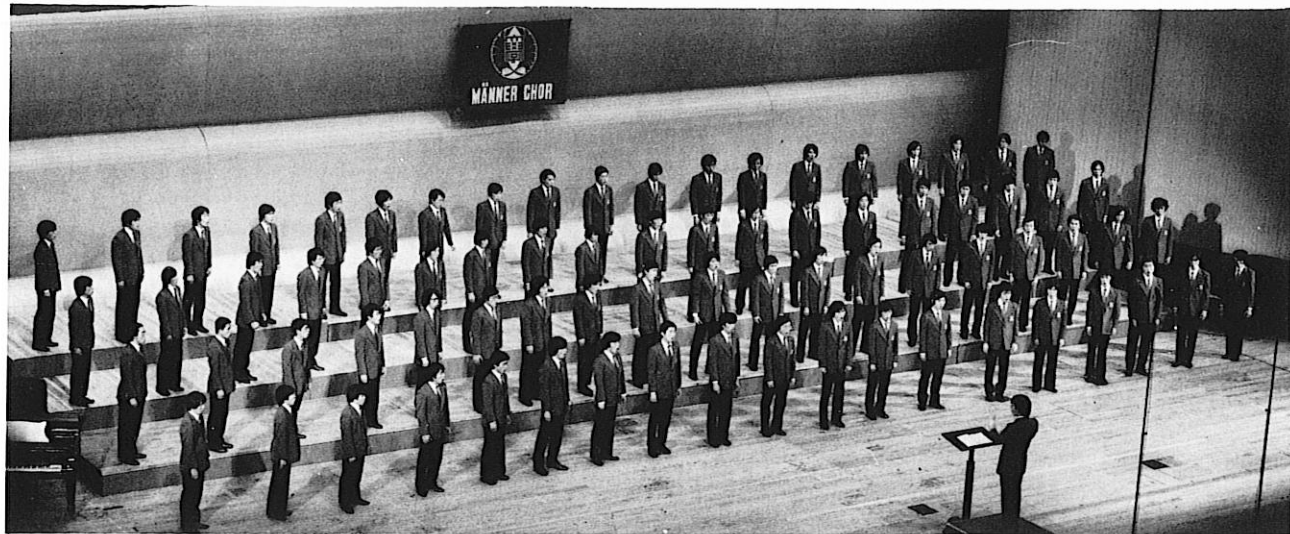
〈指揮〉 富岡 健
小野由佳里

〈お問い合わせ先〉

TEL(078)781-1050
肥田 彩和



大阪大学男声合唱団



阪大男声は昭和26年12月27日に産声をあげて以来、今年で満30歳を迎えます。ドイツ物中心の創成期。ニグロや邦人曲もとり上げるようになった30年代。関西代表として全日本合唱コンクールに出場を重ねた40年代。50年頃はコタエや民謡を得意とした「かけ声の阪大」。そして55年、ワーグナーの大曲「使徒の愛餐」をオケ伴で本邦初演。同年の「ウエストサイド物語」から「踊る阪大男声」も1つの顔。このように30年間常に試行錯誤をしながら歩んできた阪大男声の現在の姿を、パート別に御覧下さい。

Top Tenor 中性的高音発声のためか、パーリーを初め頭髪の薄い者が多い。既に婚約者のいる者、自分の妹に手を出す者など総じて女性には手が早い。SM派、ソドミもいる。ところで、パー練で体力ばかりつけているのは何のため？〈変態スケベのアデランス〉

Second Tenor 濃厚実直なパーリーを中心に、和気藹々とした家族的雰囲気を楽しんでいる。合宿のパー練中に女子大と合ハイしたり、喫茶店でお茶会したり、そのぬるま湯に1度浸ると抜けられなくなる麻薬のようなパート。練習中は幻覚症状に陥り指揮者を泣かせている。〈サロンに集う極楽蜻蛉〉

Baritone 何をやらしてもバツとしない。地味というか、暗いというか……。1人1人は個性が強いだけどねエ。鬼のパーリーの下、流す涙は男の業か？早くオジンくささから脱却しようね。〈どぶねずみ色の悲哀〉

Bass 4パート中、最も下品で野蛮。夏合宿でも大暴れ。メガネは割るは、骨は折るは、バリトンと乱闘するは……。女の口にもてないからと言って、男にロマンを求めているはアカンデ。〈欲求不満の愚連隊〉

これで阪大男声について少しでもおわかり頂けたでしょうか。理系学生の多い合唱団である為、他の5大学のように練習を多くとることができない悩みはありますが、その分あり余る若さと情熱でカバーしています。春先の日曜日毎に、団員の半数が女子大との合ハイに常に参加している事実、六連運動会でも過去5回のうち1度の2位を除いて全て優勝という事実がこれを証明しています。

では、今宵、我々の歌声が、皆様の心に灯をともしんことを祈りつつ……。

委員長 河瀬 耕 指揮者 遠藤 健次

Top Tenor

赤松 茂樹(工3)	遠藤 健次(工3)	指野 博義(文3)	瀬部 達夫(法3)	松本 浩昭(経3)	井本 浩一(工2)
枝木 秀行(工2)	酒井 正浩(人2)	関根 直樹(法2)	中田 研(医2)	中野 研吾(基2)	千葉 航一(人1)
西田 良輝(基1)	花田 武司(法1)				

Second Tenor

青木 宏道(工4)	中塚晃太郎(歯4)	明渡 寛(医3)	岩壁 靖(基3)	岡部 寛正(理3)	古川 秀夫(人3)
靱山 卓哉(医3)	石田 斉(工2)	井上 透(工2)	片岡 全樹(法2)	鳩野 逸生(工2)	逸見 研一(理1)
宇崎 俊介(理1)	栗林 康幸(法1)	島谷 幸男(法1)	丸山 斉史(基1)	森山 吉浩(経1)	長田 憲一(工3)

Baritone

小島伸一朗(人4)	清水 重臣(医4)	森口 聡(医4)	秋山 哲也(工3)	池田 直昭(工3)	岩代 孝之(人3)
大場 重喜(基3)	岡本 卓治(理3)	加藤 貞史(文3)	亀田 浩一(法3)	永田 明峰(基3)	阪本 俊生(人2)
下条 雅人(理2)	深堀 明彦(人2)	宮本 和(工2)	井上 研二(工1)	岡本 悦郎(工1)	北岡 賢治(基1)
杉山 善浩(経1)	須崎 嘉文(工1)	中村 宣雄(医1)	服部裕一郎(法1)	樋口 章(経1)	堀 正彦(経1)
水谷 豊(法1)	山極 元穂(経1)				

Bass

伊東 伸泰(基4)	岩出 斉(工4)	大西 章平(基4)	大野 昭(医4)	河瀬 耕(経4)	鷺田 賢一(経4)
駒 省二(工3)	坂田 裕二(文3)	藤 通昭(理3)	藤野 大助(基3)	矢座 正昭(経3)	岩本 修司(基2)
大野 吉孝(工2)	陰山 稔(基2)	小松 敏之(理2)	猿田 進(基2)	堀 裕二(工2)	前田 秀雄(基2)
宮地 清(基2)	渡辺 和典(工2)	木村 純(経1)	佐藤 文俊(経1)	鈴木 秀生(工1)	藤田 徹也(理1)
藤田 秀樹(経1)	八木 良治(基1)				

生駒の嶺に
緑風さやけき
若きいのちは
歌ぞおほらに
叡智の泉
ほこりあり

朝影さして
銀杏の木蔭
力あふれて
望みはるけし
掬みてつきせず
真理の岡辺

大阪大学学生歌
立山澄夫 作詞
吉本昌裕 作曲
林宏太郎 編曲



MÄNNERCHOR der Univ. OSAKA

大阪大学男声合唱団第29回定期演奏会

〔曲目〕

- ♪ The Student Prince
- ♪ 男声合唱組曲「光のうた」
- ♪ Jesus Christ Superstar
編曲：鶴田敦子 振付：金子 陽
- ♪ 男声合唱組曲「月光とピエロ」
指揮：桜井 吉明

＊ 1982年1月14日(木) PM6:30

＊ 大阪フェスティバルホール
S席 ¥1000 A席 ¥700

＊ お問合せは
猿田 進 ☎(06)693-4817

琴の音が流れる和風のお店です

甘党喫茶ルーム

大阪駅前老舗



お好み焼ルーム

当店独得の風味をご賞味下さい。

甘党の店



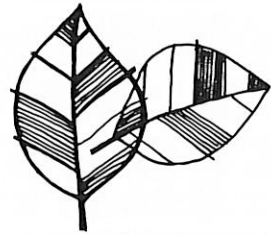
inaka

■営業時間：午前9時30分～午後10時
■定休日：毎月第2日曜日

大阪市北区梅田1丁目3番地 大阪駅前第1ビルB1 TEL 346-5727・341-6563

立命館大学メンネルコール

- Q I . (1)男声合唱のための5つのラメント25%、海鳥の歌(男声版)20%、同志社つふせの歌(コンバットマーチ)6%、その他49%
(2)藤沢幸弘(さすがです)35%、浦山弘三30%、浅井敬壹10%、深澤博昭(うっせ〜)6%、その他19%
「深澤には不可能という辞書はない」とすがったS氏の目に狂いはなかった。
Q II . マンガ雑誌類35%、小説25%、詩集(カ〜ワイイ)6%、専門のテキスト6%、その他
Q III . 無し48%、有45%(A30%、B5%、C30%、D5%、E以上30%)その他
Q IV . 関学……技術面・運営面ともに立派だが人間らしさがない。ドイツ語でたまには歌うたえ!
関大……多田節の美しさを根性だけで歌っている。情宣にガクラン・ハチマキで来るな。TOPしごきが足りんぞ!
関大は古い!女を見て鼻血出したのはだ〜れだ?
同志社……おちめ
阪大……ワシラの血税のおかげで歌えるんやからな!運動会V3絶対阻止!
甲南……やった!未来の阪神六大学(阪六)のホープ、アンケートで何いわれてもあきらめなさい。



甲南大学グリークラブ

- Q I . (1)1. 十の詩曲……8人、2. 緑深き故郷の村で……5人、3. さすらう若人の歌……4人、4. 雨……4人
(2)1. 前田幸市郎……14人、2. 西尾健司……8人、3. 加島進……7人、4. 根津弘……5人
Q II . 1. Lマガジン……12人、2. サンデー、マガジン……9人、3. はあもにい……5人(その他、PHP、謀女子大定演パンフ、就職ジャーナル)
Q III . 体験なし……6人、A……15人、B……6人、C……11人、D……2人、E……2人、その他……Z、Xなど
Q IV . 立命……稲刈りはもうすんだの?素朴なところがいいわ。
関大……硬派ブリッ子、運動会での気がいじみた闘志(それを他にまわせ!)
同大……過去の栄光にすがるな!!
関学……あんたらは軍隊でっか?きどりすぎやで、おっさん!!
阪大……グリーなんかやめて勉強していなさい。2重穴のベルト、ベルボトムGパン。ニチイのポロシャツ。

関西大学グリークラブ

- Q I . (1)1. 吹雪の街を、2. 関西大学学歌、3. 十の詩曲
(2)1. 田中信昭、2. 江崎潔、3. 林伸二郎
Q II . 1. 部誌「荒野」、2. ロシア語の教科書、3. 六連パンフ
Q III . 「硬派関大に女はいらん」「神聖なる彼女との関係を公表する必要なし」「チャンスはあったがプラトニックを貫いた」
Q IV . 甲南……軟弱そのものに長尾と宮内が異様にはみ出した生ける死がばね。六連のお荷物。
立命……反体制派集団。アホに徹しきれない中途半端な集団。
関学……コンピューターハーモニー。祝関西六大学(野球)復帰、花王石けん。
同志社……斜陽族。
阪大……ストーム荒し集団、プレザーの色で目だとうとする集団。指揮者の運動神経で維持される団。

同志社グリークラブ

- Q I . (1)1. 「十の詩曲」2. 「ことばあそびうたII」3. 「関大のエール」、「ドラエモン教え歌」
(2)1. 福永陽一郎、2. 富岡健、3. 芦田直幸、4. 楠木敏也
Q II . 1. 愛読書ナシ、2. 「PLAYBOY」、3. 「楽典」、その他〜「なんとなくクリスタル」、「メンズクラブ」、「1億人の昭和史」
Q III . 未体験……10%、A……15%、B……5%、B'……10%、C……20%、D……20%
(その他(E……5%、男とC……2人、女と手をつなぎたい……1人))
Q IV . 立命……京都にある事が不幸、よくわからん。
甲南……神戸にある事が不幸、他団の数の暴力に耐えているのはエライ。
関大……あのIntelligenceのなさが素晴らしい。
関学……ああ、ウマイウマイ、さすが、あんたはエライ!
阪大……唯一の国立、いれたげヨ。
(同志社が一番!後は皆、賛助出演)



関西学院グリークラブ

- Q I . (1)白いパラソル、モーツァルト「レクイエム」、辰井のヨーデル、雪明りの路、中勤助の詩から、Doshisha Collegesong.
(2)1. 北村協一先生(35%)、2. 林雄一郎先生(24%)、3. 河本晴光(24%)その他、ピーター・フレッチャー、カラヤン、畑中良輔先生、福永陽一郎先生、浅井敬壹先生、ダン池田。
Q II . 私の早慶大合格作戦、Men Only、両手に聖子、「部員心得」、就職ジャーナル、宝塚おとめ、コンコーネ、少女アリス(アリス出版)
Q III . 未……46%、A……8%、B……7%、C……5%、D……3%、その他31%(ボク何の事がわかりません、チカン行為、ロリータコンプレックス、どうせボクは包茎です。Sodomyの世界、男とのみC)
Q IV . 甲南……アホで軟弱なボンボン
立命……ダサイ、地味
関大……下品で野蛮なヤーサン集団
阪大……バス、バス
同大……トップだけ、譜面台逆さにして置くなヨ

大阪大学男声合唱団

- Q I . (1)1. 「Muss i denn」、2. 「使徒の愛餐」3. 「関大のエール」、その他〜「犬のおまわりさん」
(2)1. 桜井吉明、2. 武庫女のアキchan、3. 浅井敬壹・平田勝
Q II . 1. 「阪大男声定演パンフ」、2. 「コールユープンゲン」、3. 「智恵子」(団内文芸誌)、その他〜「男声自身」(団内ゴシップ記事特集誌)、「アルバイトニュース」
Q III . 未体験……21人、A……5人、B……3人、C……8人、D……3人、その他(ウルトラ)……2人)
Q IV . 立命……衣笠に美食う貧乏神、京都都衣笠村の青年団合唱班。
甲南……ボンボンやのオ!軟弱、女のコと付きあうのだけはウマイ。
関大……来年は阪大新撰組が関大愚龍一家を叩きのめしたるデ!人の恋人に手を出すな、まゆみさんは僕のもんだ!
同志社……過去の栄光にすがりつく歌うパートナー。
関学……純粋温室育成集団。練習多すぎて(?)デートもでけへんやろ。

〈設問〉

- Q I . (1)あなたの好きな歌、曲は何ですか?
(2)あなたの好きな指揮者は誰ですか?
Q II . ○あなたの愛読書は何ですか?

〈寸評〉

立命館大学メンネルコール
君達、人の事を言えますか?ユーザーモアない。ガンバってください。
甲南大学グリークラブ
教養ないね!マンガばかり読んできると、それでなくともア……。まあガンバってください。
関西大学グリークラブ
まあまあ、いっちょまえに硬派ぶってもダメですよ。僕にはちゃんとかわっているのですから。

Q III .

○あなたの性体験を教えてください。
(未・A・B・C・D・その他)

Q IV .

○あなたは自分の団を除く他の五大学の合唱団についてどう思っていますか?

同志社グリークラブ

他団はトップテナーのユニゾン以外の音楽を聞かせる為に出演しているのだ。

関西学院グリークラブ

すべてにわたって少女趣味。そのくせすべなところが見られます。ガンバってください。

大阪大学男声合唱団

結局は六連ラブアタックで指揮者自ら示した様に、ウラヤマシガリのモテない男の集団なのだ。



帝塚山学院大学コール・ユニ 第9回定期演奏会

- 〔曲目〕 ふたりだけの展覧会 〔指揮〕 松井道子
クリスマス・キャロル 佐藤公仁代
思い出によせて アドバイザー
めぐり逢いは不思議ね 水谷康子

¥500 12月17日(木) 6:30PM開演 森の宮ピロティホール



甲南女子大学コーラス部 第18回定期演奏会

- I 抒情三章 作曲 萩原英彦
II マンモスの墓 作曲 間宮芳生
III 紅花抄 作詩 芳賀秀次郎 作曲 服部公一
IV MISSA BREVIS IN D 作曲 BENJAMIN BRITTEN

1981年12月13日(日) 開演 2:30PM 神戸文化ホール



六連運動会

1981. 5. 5 (火) …………… (於) 大阪城公園

六連恒例、各団の名誉と意地をかけた春の大運動は、絶好の五月晴れの下、大阪城公園で開催され、今年の大会にも数々の名勝負、名場面が展開されました。それでは当時の模様を振り返ってみましょう。

まず各大学のエールにより入場行進が行なわれ、開会式終了後、マラソンレースを皮切りに、以下体力レース、極道レース、十一人十二脚など熱戦が繰り広げられました。そして午前中最後の種目は、今回初採用の人間イス取りゲームが行なわれました。このゲームはトラック内で男子部員が人間イスとなり、それを応援女子大生達が自らのお尻で奪い合うというまったく女性泣かせの競技でした。当初、理性を働かし、つつましく振る舞おうか、それとも応援という大義名分に我を忘れ本性をむき出して臨むべきかと当惑気味だった女性達も、ゲームが始まるや大半の予想を裏切り!?人間イスめがけて猛然とダッシュして行き、合ハイの席などではとても想像できない彼女達の凄まじい気迫に各部員はいやが上にも燃え上がらずにはいられませんでした。そして、午後からは六連名物ラブアタックで始まり、競技はいよいよ白熱化の様相を呈し、注目の得点争いは、横一線状態が続き、最後のスウェーデンリレーで勝った所が優勝という大混戦となったのでした。結局、騎馬戦では、奈落の底におとされかけながらも、この種目に伝統の力を発揮した体力の阪大がV2を達成し、入場行進で仮装行列を行なうなど、今年もあらゆる面で注目を浴びた関大が2位、人数不足にもかかわらず一致団結して去年の汚名を拭った甲南が3位、以下人数に頼りすぎ、一人一人の使命が十分果たせなかった関学、“なんとなく、なんとなく”例年通りにやってたら今年も結局Bクラスの泥沼から脱出できなかった同志社、そして混合種目以外活躍もなく、ラブアタックの黒マントだけが異様に目立った立命の順でした。閉会式では、全員でU Boj 合唱し11月3日の再会を誓って幕を閉じたのでした。

立命館大学メンネルコール



みなさまこんばんわ! 奈良女子大学音楽部です。衣笠の地に雄々しき勇姿、深き情の立命館メンネルアンから応援をお願いされた時には、これぞ青天の霹靂一日頃の聴覚の乱れにはやはり音取りだけに止まらずや否や?と思いましたが、醒めぬ夢に浮世の事と知って嬉しさひとしお、心を込め我をも忘れて情熱を傾けた1日でした。今も胸が熱くなるのはあの騎馬戦!戦いの渦中に熱く燃えて正々堂々と飛び込んでゆく真摯な姿勢は男らしく眩しかった。なのに…どうして?位はないのか? 嗚呼、今復活の時! 彼らの妥協を許さぬ骨のある男っぽさと、その誠実な飾らぬ若々しい精神の生み出す今宵のハーモニーが聴く人の心に深くしみ入り響きます様に。

演奏会の御成功を心からお祈り申し上げます。
—海鳥はこべ波の日より、古都奈良の地の熱き想いを一歌声にのせて

甲南大学グリークラブ



第8回関西六大学合唱演奏会の開催おめでとうございます。思い起こせば、5月5日の子供の日。なんといっても、お祭り事の大好きな私たちは、久々の運動会に、老いも若きも心はずませていました。応援では、応援女子大という立場も忘れて、自分たちが主役のように振る舞い、あのすさまじいエールを武器に他団を驚かせましたが、競技では、随分甲南さんの足を引っぱってしまいました。指揮者のKさんと部長のSさんが、はやりの病いで欠席ときき、大丈夫かしらと不安で一杯でしたが、そこは少数精鋭の甲南G。みごとなチームワークで善戦です。特にあのドッチボールでみせた何ごとにも真剣に取り組む態度、騎馬戦での、できるだけ戦いをさけて通る世渡りのうまさ、人間イスとりゲームでは、外に出る人までもジャイケンで決めた平等を愛する心に深く感動しました。

さて、今宵の演奏会でも、つい大声で応援してしまいそうな私たちですが、客席から、静かに応援させていただきます。
甲南Gに栄光あれ! 神戸女子大学コーラス部

関西大学グリークラブ



拝啓

同志社グリークラブの皆様、お元気で御活躍のことと存じます。あの六連の運動会は私達にとって、とても楽しい思い出となりました。我がクラブの部員は30名弱ですので貴クラブ(65名もの大所帯)の応援を充分できるかどうか、とても不安でした。私達にできることは、日頃鍛えた美声をハリ上げ応援することのみ!!と信じ、同志社グリーメンの気迫のこもった競技を見守りながら声援しました。成績順位はさておき、特にあの騎馬戦での気迫、いえ、あの殺気を感じられるほど、ムキになることのできるグリーメンの姿を見て、そこに、今日の同志社グリークラブがあることを確信しました。

今宵、同志社グリークラブの調和のとれた美しいハーモニーの中に私達は、また酔いしれてしまいそうです。今後、益々御発展することをお祈り申し上げます。
敬具

相愛女子大学合唱部

関西学院グリークラブ



—関学グリーのやさしいあなた様へ

秋も深まり、爽やかな季節になりましたね。今宵は、関西六大学演奏会おめでとうございます。

今年の夏は、欧州演奏旅行でひとまわり大きく成長されて、もう“世界の関学グリーメン”としての貫録も充分! 帰国された時歌われたエールには、その自信にあふれ私は大変感動させられました。そしてその日から今日の六連を楽しみにしていました。

いつも頼りない私を、下から持ち上げ、上から引っぱって助けて下さり、大変心強くまた大変嬉しく思っております。私は何もお返しできませんが、せめてあなたのステージをいつも客席から一生懸命応援しています。

これからもより一層“関学トーン”に磨きをかけて頑張ってくださいね。

大阪樟蔭女子大学コーラス部 KGファン代表**より—

大阪大学男声合唱団



こんにちは。阪大男声の皆さんお元気ですか。あなたの梅花女子大学合唱団です。

憧れの阪大さんに初めてお会いしてから半年たちました。あれ以来私達はあなた方のとりこ!! 六連運動会の時の他を寄せつけないあの迫力、あの熱気、そして優しさ溢れる男の色気(ちょっといやらしかったかしら?)。でも、でも本当に素敵だったんですよ。

とにかく、私達は最初から最後まであなた方の魅力に酔いしれてました。V2めざしてのチームワークのすごさにはもう降参! 梅花girls もついついつられて、人間イスとりゲームでは恥ずかしさも忘れてがんばっちゃいました。かわいかった?ムフツ…。結果は…もちろん“優勝”。よかったね、よかったね。ワイ!

今宵も阪大男声の魅力でだききった素敵演奏を心からお祈りしています。がんばってね!

梅花女子大学合唱団

PS osaka photo

(株)大阪フォト サービス カンパニー

〒550 大阪市西区江之子島1丁目5-17
TEL 06(443)7608(代表)

春夏秋冬…古都へのいざない

東山の高台から古都を一望



京都・東山・けあげ
都ホテル
☎(075)771-7111

新幹線口から歩いて1分



京都駅八条口
新・都ホテル
☎(075)661-7111

グリーンメンの良きアドバイザー **デザイン・企画** 印刷を通じて気さくなおつきあい

中央印刷株式会社

各種パンフレット・案内状 チケット類

- 本社 大阪市南区谷町6丁目40-1 ☎06 (763) 2632(代)
第5マツヤビル10F(地下鉄谷町6丁目下車50m)
- 堺支店・工場 堺市鳳東町5丁487-56 ☎0722 (73) 1151(代)

◇各校の定期演奏会スケジュール

- '81 12月6日(日) PM6:00 開演
第35回 立命館大学メンネルコール定期演奏会 …… (京都会館第一ホール)
- '81 12月13日(日) PM6:30 開演
第23回 関西大学グリークラブ定期演奏会 …… (大阪フェスティバルホール)
- '82 1月14日(木) PM6:30 開演
第29回 大阪大学男声合唱団定期演奏会 …… (大阪フェスティバルホール)
- '82 1月23日(土) PM6:30 開演
第29回 甲南大学グリークラブリサイタル …… (神戸文化大ホール)
- '82 1月23日(土) PM6:30 開演
第77回 同志社グリークラブ定期演奏会 …… (京都会館第一ホール)
- '82 1月30日(土) PM6:00 開演
第50回 関西学院グリークラブリサイタル …… (神戸文化大ホール)
- '82 1月31日(日) PM6:00 開演
第50回 関西学院グリークラブリサイタル …… (大阪フェスティバルホール)



ニュー ミュンヘン 南大使館

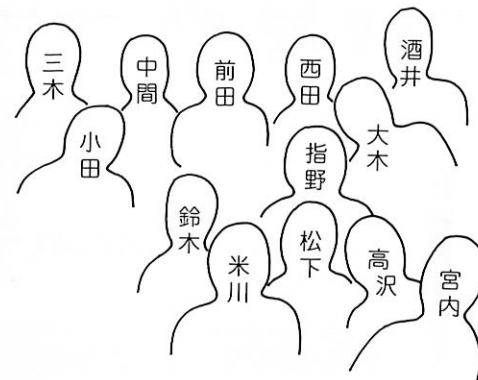
和室200名・中華ルーム100名・貴賓室70名・大ホール500名
生ビール、和食、洋食、中華、喫茶

❧ **募集** ❧

長期学生アルバイト
学生コンパ大歓迎

南区千日前プラザビル2F
Tel. 211-8827
8828

- 営業時間
平日 PM3:00~23:00
日祝日 PM12:00~23:00



■ 関西六大学合唱連盟常任委員

立命館大学メンネルコール 大木 雅由 (ステージ)
 鈴木 茂基
 甲南大学グリークラブ 宮内 正彦 (ステージ)
 関西大学グリークラブ 米川 謙二 (会計)
 同志社グリークラブ 高沢 隆司 (印刷)
 関西学院グリークラブ 松下 浩和 (印刷)
 大阪大学男声合唱団 指野 博義 (幹事)

■ 第8回演奏会実行委員

立命館大学メンネルコール 中間 了吾
 甲南大学グリークラブ 前田 淳造
 関西大学グリークラブ 三木 英和
 同志社グリークラブ 小田 尚紀
 関西学院グリークラブ 西田 淳一
 大阪大学男声合唱団 酒井 正浩

***** 六連編集後記 *****

本日はようこそ演奏会にお越しいただきありがとうございました。このように大勢の人達の前で演奏会を持てますことを私達は幸せに思っております。

さて、このパンフレットを読み終わった感想はいかがなものでしょうか？ 内容の充実、センスの良さをモットーにして作成しましたので、かなりの出来ばえ、と自己満足しています。(ただ金をかけて、ページ数を増やしただけではないかという声、々…。一ふん、じゃかましわい)。

二ヶ月ほど前に起こった三和銀行事件の犯罪者のように、昨今は人の心が荒廃し、世の中が何が分からないが暗くなっています。せめて、このパンフレットが人の心の中に明るい灯を与えてくれれば……。てなことは無理でしょうから、楽しんで読んでいただければ幸いです。(何のこっちゃ)。

最後になりましたが、編集に当たり、原稿をお寄せ下さった諸先生方、快よく広告の掲載を御承諾下さった広告主の皆様、また、いろいろとアドバイスを頂きました中央印刷の皆様に対し、厚く御礼申し上げます。
 (印刷担当マネージャー)

ドイツが誇る世界の名車



関西代理店
 株式会社 服部モータース商会

本社 大阪市鶴見区緑1丁目8番2号
 ☎538 TEL 06 (933) 5757~9
 部品課 TEL 06 (933) 8251
 神戸店 芦屋市打出春日町141
 ☎659 TEL 0797 (31) 2622~4
 京都店 京都市南区吉祥院御池町10番1号
 ☎601 TEL 075 (661) 6000(代)
 二輪車部 大阪市都島区都島本通1丁目2番20号
 ☎534 TEL 06 (923) 2345